# 京城日報

發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

## 十二月二十八日夕刊（朝夕併せて八頁）

### ◇派遣艦隊凱旋準備
這次の海戰に依りて得たる効果

巴里來電＝羅馬よりの報道に依れば君府其他に在りたる日本海軍の地中海派遣艦隊は目下歸國の準備中なるが出發前一先ず英吉利に立ち寄ることゝなるべし日本艦隊の地中海出動以來其特殊任務に於て非常なる勳功を樹て威力を發揚したるは既に各國人の熟知する所なるが尙ほ同艦隊が最新戰術を應用したる今次の海戰に參加して充分なる經驗を得たるは勿論其戰利品中には今日迄日本海軍が所有せざりし最新武器を含み居れるを以て同艦隊の凱旋は日本海軍に於て特殊の意義を有すべし（東京特電）

### ◇派遣軍召還理由
西伯利出征軍一部召還理由に就き田中陸相は語りて曰く爾來出動地域の秩序稍整ひ漸次露國軍の復興せんとする狀況に鑑み我駐屯軍兵力を與國軍及び新興露軍と共同して極東に於ける治安を維持するに必要とする最少限度に減ずる事に決し豫後備役の者及び後方部隊等人員役三萬四千と之れ等部隊に屬する馬匹約六千を還送する事とせり（東京特電）

### ◇獨秩序回復聲明
獨紙の報道に據れば伯林政府はヒンデンブルグ將軍の要求を容れ速かに伯林の秩序回復を圖り中央集權の確立を期する旨聲明せりスパルタカス團の徒黨は擧つて憲法會議々員選擧に參加せざる旨を決議し以て憲法會議の召集を妨碍せんとするもの〻如し（巴里電報）

### ◇佛軍艦波海航行
佛國政府公報に據れば五隻の軍艦は獨波的海に向ひ航行中なり目的は休戰の條件が履行され居るや否やを見屆くる爲と又俘虜の歸國を確定ならしむるが爲なりと（巴里電報）

### ◇白國旅團獨進入
白耳義公報に據れば第一騎兵旅團は獨逸に入りダルスドルフに達せり（倫敦電報）

### ◇北方各代表出發
朱啓鈐氏以下各代表者は二十九日北京出發天津に至り三十一日同地發一月一日南京著に決定せり錢總理は南方に對し第三回目の辯解電報を發せり（北京特電）

### ◇宮中午餐會中止
二十八日御恒例に依り宮中千種の間に於て午餐會を催させらる可き筈なりしも　天皇陛下御風氣に渡らせ給ふ爲め御中止相成りたる趣き拜承す（東京特電）

### ◇首相御禮言上
原首相は廿七日午前十一時廿分參內　天皇陛下に拜謁仰付られ開院式に賜はりたる勅語の御禮を言上せり（東京特電）

### ◇最終定例閣議
朝鮮關稅令改正

年內最終の定例閣議は廿七日午後二時首相官邸に於て開會原首相以下各大臣出席年內の內外重要政務を處理し左記事項を決定し同四時散會せり（東京特電）

一　朝鮮關稅定率令中改正制令案及び朝鮮關稅令中改正制令案外十一件

### ◇園侯首相訪問
西園寺侯は二十七日午後一時近衞文麿公及び西園寺八郎氏同道首相官邸を訪問し各大臣と會見したるが侯は二十八日東京驛發興津に赴き同地に滯在一月七日再び東上す可し（東京特電）

### ◇貴族院會議
貴族院にては廿八日午前十時會議を開き全院委員長及び常任委員選擧に引續き　勅語奉答文を議決したる後我西伯利出征軍並に遣外艦隊に對する感謝狀贈呈に就き協議したり（東京特電）

### ◇貴族院請願受理
廿七日貴族院に於て受理せる請願左の如し（東京特電）

軍人恩給法附則改正の請願外十一件

### ◇衆議院請願受理
衆議院に於て廿七日受理したる請願左の如し（東京特電）

大正六年法律第六號軍人恩給法中施行期改正に關する件外五十一件

### ◇各派常任委員割當
衆議院各派常任委員割當數は案分比例を以て左の通決定せり（東京特電）

▼豫算　政友會廿七名▲憲政會二十名▲國民黨六名▲新政會四名▲無所屬六名

▼決算　政友會二十名▲憲政會十四名▲國民黨四名▲新政會三名▲無所屬六名

▼懲罰　政友會十二名▲憲政會八名▲國民黨三名▲新政會一名　無所屬二名

### ◇政務調查役員
政友會政務調查會々長以下役員及び部員は二十七日原氏より左の如く指名囑託ありたり（東京特電）

會長白石直治▲副會長秦豐助▲理事丸山嵯峨一郎（外三名）

### ◇年末御用納
內閣樞密院宮內省、外務內務省各省以下官廳は廿八日を以て本年度御用納に就き各長官より所屬吏員に對し一場の挨拶あり明年一月三日迄休務す可し（東京特電）

### ◇幣制顧問招聘問題進捗
阪谷芳郎男の支那幣制顧問招聘問題に關しては兩國政府間の交渉略ぼ完了し今は同男の考慮を俟つて決定する迄に進捗し居れりと（東京特電）

### ◇近藤男發期更變
講和大使隨員として渡歐すべき近藤廉平男及び其一行の乘船すべき伏見丸は一月二日橫濱出帆の豫定なりしも三日午後三時出帆に變更せり（東京特電）

### ◇定期取引受渡
臺灣及外國米

農商務省にては米の需要供給を圓滑ならしむる爲め臺灣米及び外國米を定期取引の受渡に供用せしむるの必要を認め二十八日各全國取引所に對し明年四月限より實施する見込みにて同年一月十五日迄に營業細則の變更認可を申請す可き旨通知したり（東京特電）

### ◎倫敦財界近狀
朝鮮銀行入電

十二月上半に於ける倫敦金融狀況に付同地出張中の水間鮮銀司事より鮮銀本店への入電によれば前半の金融市場は月初短期公債利子支拂ひありたるため資金充溢しコール二分五厘より三分となり一週間物にて三分二厘五毛なり割引步合は銀行手形三分五厘商業手形四分より四分五厘見當取引所は閑散にしてコンソルは五十九受五志商業取引金融市場は共に軍事上政府監督の下にあり英蘭銀行は軍事公債の發行を一月十八日を以て中止すべき事を言明せり國庫債券は引續き發行せらるべきもその條件は人氣を引立つるに足らず金融市場は九箇月三分七厘五毛利附並に一箇年四分利附大藏省證券の復活を豫期しつゝあり

### ◇各派交涉會
衆議院にては廿七日本會議散會後院內議長室に各派交涉會を開き出征陸海軍々人に感謝狀を贈呈することを決議し散會せり（東京特電）

### ◇政友常任委員
政友會より選出すべき常任委員長は左の如く決定せり（東京特電）

豫算委員長齋藤珪次▲懲罰委員長中西六三郎▲請願委員長古谷久綱

### ◎總督忌引廢賀
長谷川總督は別項記載の如く令弟境諭之進氏逝去に就き引籠中なるが來年一月五日迄は忌引に付き年末年始の禮は受ざる事となれり

### ◎東拓十周年所感
川上京城駐在理事談

東洋拓殖會社も二十八日を以て創立以來滿十周年を閱する事となれり然も予の　▲東拓に關與　を有するに至れるは漸く一昨年末よりにて過去十年間の會社事業の經過回顧並に所感に就ては前重役諸氏の陳ぶる所に任せ批評等に及ぶの嫌ひもあり多くを語るを欲せず唯一言を述ぶれば東拓設立當時は尙ほ日鮮併合前にて朝鮮の事情も詳細內地に知了されず過大の移民拓殖方針を以て半島の開拓に當らんとせしがそは計畫並に聲明その者が實情に不適合にして必ずしも一般の期待に副はざるやの嫌ひありき然も之れを目して實行上の手落ちとなすは論者の無理ならんその結果移民拓殖より資本拓殖に移るの方策　昨年東洋拓殖會社法の改正と共に成り鮮滿を主として各方面に事業の進展を計畫し得るに至れり然も　▲新法實施以來　日尙ほ淺く不徹底なる予等もなすべき多くの計畫を有するも未だ漸く緒に就きたるに過ぎず國家の保護を受くる特殊會社としては成績の多く見るべきものなきを竊に遺憾とする所なれど今後官民各位の指導鞭撻を受け漸つてその目的に向つて邁進したしと努め居れり要するに既往の十年は試練時代となすも不可ならず今後實行期に入る譯なり

### ◎新年受賀代理
總督官邸に於ける新年祝賀式は總督忌引の爲め國分司法部長官總督府に於て代つて賀詞を受くる事となれり

### ◎叙位
二十八日午前十時總督室に於て政務總監より左の通り辭令の傳達ありたり

| | | |
|---|---|---|
| 從三位 | 侯爵 | 李載完 |
| 從三位 | 侯爵 | 朴泳孝 |
| 正四位 | 伯爵 | 閔泳璘 |
| 從四位 | 子爵 | 李完鎔 |
| 從四位 | 中樞院贊議男爵 | 朴齊斌 |
| 正五位 | 判事 | 勅使河原健之助 |
| 正五位 | 男爵 | 成岐運 |
| 正五位 | 男爵 | 朴箕陽 |
| 正五位 | 男爵 | 趙東潤 |
| 從五位 | 男爵 | 李根澔 |
| 從五位 | 總督府道部長 | 高見長恒 |
| 從五位 | 府尹 | 金谷充 |
| 從七位 | 總督府道技師 | 掛場定吉 |
| 正八位 | 判事 | 金泰榮 |
| 正八位 | 京城醫專敎諭 | 金炳會 |

### ◎八年度總督府特別會計豫算
歲出入七千七百五十餘萬圓

#### 總說
大正八年度朝鮮總督府特別會計豫算は既定の財政獨立計畫に基き且つ時勢の進運に順應し各般の事情を斟酌考量して之が編成を爲したり其歲入豫算に於ては輓近一般經濟界の盛況及び物價異常の騰貴に伴ひ租稅及び官業等の收入の增進著しきものあるのみならず韓國併合の際の宣言に基づく朝鮮關稅制度据置期間は大正九年八月を以て滿了するに依り其後に於ける關稅制度確立の順序として先以て本年度より輸移出稅を撤廢し之に基づく歲入の缺陷は新に砂糖消費稅及び印紙稅を賦課して之れを補塡するの計畫を樹てたると共に豫定計畫に依り酒稅の稅率を引上げ且つ公債金支辨に俟つべき事業を追加せる爲め之が財源として公債募集金の增加を計上せり而して一般會計補充金は豫定の通り之れを全廢し茲を以て朝鮮財政獨立計畫の完成を期するを得たり其の歲出豫算に於ては教育の普及産業の獎勵等朝鮮開發上差措き難き施設に對し新に規畫せるものあり又輓近物價騰貴に基づく經費の增加巨額に上りたると共に既定計畫に依る諸般の施設は概ね社會の進運に從ひ財源の許す範圍內に於て之れが完實を圖り其の經營を進むるの方針を採りたり

#### ▼歲入
大正八年度歲入豫算額は七千七百五十一萬三千三百三十四圓にして前年度歲入豫算額六千四百五十萬二千五百三圓に比較すれば千三百一萬八百三十一圓を增加す而して右大正八年度歲入豫算額內經常部に屬するもの五千貳百六拾四萬貳千六百八圓臨時部に屬するもの貳千四百八拾七萬七百貳拾六圓なり

經常部歲入豫算額五千貳百六拾四萬貳千六百八圓を以て前年度經常部歲入豫算額四千貳百六拾六萬八千貳百貳拾圓に比較すれば九百九拾七萬四千參百八拾八圓を增加す朝鮮財政は茲に其整理を遂げ獨立の實を擧ぐるを得たるを以て更に進んで地方費の財源を豐にし以て地方施設の進捗を圖らざる可からず然るに戸稅及家屋稅は專ら地方の情況に應じ其の賦課を斟酌すべきものにして一般財政の財源としては寧ろ不適當なるに依り本年度以降之を地方費の財源に移屬せしめたる爲め一般歲入の減少ありと雖も經濟界の盛況及び物價騰貴に伴ふ關稅、官業及び官有財産收入の增加並に稅率引上に依る酒稅の增收等に因り前記の歲入增加を見るに至れり今其の增減の主なるものを擧ぐれば左の如し

租稅に於て參百六萬七千九百貳拾九圓を增加す是れ地方費財源に移すが爲戸稅八拾萬參千九百四拾六圓、家屋稅貳拾參萬七千八百五拾九圓を減少すと雖も鑛業の勃興に依り鑛稅貳拾萬八千四百七拾參圓、稅率の引上等に依り酒稅七拾八萬九百八拾圓、消費の增進に依り煙草稅百九拾千百八拾九圓、新に賦課する爲砂糖消費稅六拾五萬貳千四拾七圓、貿易の進展に伴ひ關稅に於て本年度より輸移出稅廢止の爲八拾五萬貳千八百參拾九圓を減少すと雖尙百參拾八萬七千百貳拾圓を增加する等に依る、印紙收入に於て經濟取引の盛況、鑛業願件數等の增加及新に印紙稅を賦課する等に基き百五拾萬千參百參拾圓を增加す驛屯土收入に於て貸付料々率の引上に依り貳拾四萬八千五百九拾八圓を增加す官業及官有財産收入に於て五百拾萬九千九百貳拾八圓を增加す是れ新に阿片令施行の爲五拾四萬千九百貳拾圓、事業の增進及拂下價格引上等に依り印刷所收入拾八萬七千參百九拾八圓、鹽業收入拾五萬九千百參拾五圓、度量衡收入拾貳萬六千七拾七圓、林野收入貳拾七萬六千六拾七圓、囚徒工錢及製作收入拾參萬九千七百六拾四圓、平壤鑛業所收入貳拾參萬參千七百四拾圓、營林廠收入百卅萬九千七百拾七圓、郵便電信及電話收入六拾六萬九千六百四拾一圓、國有鐵道投資額の增加等に依り南滿洲鐵道株式會社納付金百貳拾九萬八千九拾五圓を增加する等に依る

臨時部歲入豫算額二千四百八十七萬七百二十六圓を以て前年度臨時部歲入豫算額二千百八十三萬四千二百八十三圓に比較すれば三百三萬六千四百四十三圓を增加す是れ一般會計よりの補充金は豫定通り之れを全廢し三百萬圓を減少すと雖も戰時利得稅を賦課する爲四十萬六千十六圓、公債支辨事業費の增加に伴ひ公債金特別會計受入財源の必要に基づき前年度繰入金に於て四百四十三萬千百六十四圓を增加する等に依る

#### ▼歲出
大正八年度歲出豫算總額は七千七百五拾壹萬參千參百參拾四圓にして前年度歲出豫算總額六千四百五拾萬貳千五百三圓に比較すれば千參百壹萬八百參拾壹圓を增加す而して大正八年度歲出豫算の內經常部に屬するもの參千九百六拾九萬八千貳百五拾圓臨時部に屬するもの參千七百八拾壹萬五千八拾四圓なり

經常部歲出豫算額參千九百六拾九萬八千貳百五拾圓を以て前年度經常部歲出豫算額參千六百參拾七萬五千貳百九拾貳圓に比較すれば參百參拾貳萬貳千九百五拾八圓を增加す

右の增加を生ずる所以は主として法令の施行及び改正等に伴なふ經費の增加、教育及び勸業機關の增設又は充實並に官業の進展及び物價騰貴に伴なふ經費の增加に基づくものとす

臨時部歲出豫算額參千七百八拾壹萬五千八拾四圓を以て前年度臨時部歲出豫算額貳千八百拾貳萬七千貳百拾壹圓に比較すれば九百六拾八萬七千八百七拾參圓を增加す

右の增加を生ずる所以は主として各種調査及び試驗費の增加、勸業土木、輕便鐵道に對する補助の增加、海關工事、水道擴張其の他各所新營に伴なふ經費並に物價騰貴に依る經費の增加に基づくものとす

今本年度歲出豫算中新に施設せむとする事項の主なるものを摘記すれば

一共通法の施行に伴ひ朝鮮民籍令を改正し民籍の整正を期する必要あり其の經費參拾七萬五百九拾圓を豫算せり

一軍需工業動員法を朝鮮に施行する必要あり其の經費五萬貳千七百[illegible]圓を豫算せり

一新に阿片令施行の爲其の經費參拾六萬六千七百參拾貳圓を豫算せり

一朝鮮人たる判檢事、巡查、憲兵補助員看守及通信傭夫の俸給並に給料の引上を要する爲其經費拾四萬千四百六拾四圓を豫算せり

一全州高等普通學校新設及普通教育に從事する教員養成所の擴張の必要あり其の初年度經費參萬七千七百七拾五圓を豫算せり

一海運界の發展に伴ひ海員補充の爲海員養成所新設に要する經費貳萬四千貳百六拾五圓を豫算せり

一西北鮮地方に於て農事試驗を開始するが爲勸業模範場支場新設の必要あり其の經常費參萬千七百貳拾圓を豫算せり

一產業組合令を制定し產業の發達を圖る必要あり依て組合の指導監督に要する經費貳萬參千八百貳拾圓を豫算せり

一國有林の禁伐保護と共に之が利用を圖るの必要あり其經營費五萬五千六百參拾貳圓を豫算せり

一國有未墾地利用の出願多數に上り急速其の處分を要するが爲其の經費參萬貳千八百拾四圓を豫算せり

一水源涵養の爲重要なる荒廢河川の流域の造林に關し調查を爲し且造林事業の指導監督並造林補助增加の必要あり其經費拾貳萬五千參百參拾五圓を豫算せり

一水利組合の成立を促進し且之れが工事費に對し補助する必要あり其の經費拾七萬圓を豫算せり

一棉作第二期擴張計畫に基き補助を增加する必要あり其の經費八萬八千貳百拾貳圓を增加せり

一馬匹增殖及緬羊飼育の奬勵の爲其の經費拾萬七千九拾圓を豫算せり

一甜菜栽培奬勵の爲補助の必要あり其經費七萬五千圓を豫算せり

一朝鮮紡織會社に對し補助の必要あり其經費八萬七千五百圓を豫算せり

一輕便鐵道の敷設を奬勵するが爲補助增加の必要あり其經費貳拾六萬六千五百拾八圓を增加せり

一天日製鹽田適地の選定、其の設計及調查並在來鹽田の調查をなす必要あり其の經費四萬五千圓を豫算せり

一鎭南浦府の經營に係る防水工事經費額六萬圓に對し參萬圓を八九兩年度に割合ひ補助する必要あり其の本年度割額貳萬圓を豫算せり

一黃海道地方費の經營に係る兼二浦市街整理工事總經費額拾五萬四千圓に對し拾貳萬圓を八年度以降三箇年に割合ひ補助する必要あり其の本年度年割額貳萬圓を豫算せり

一元山郵便局新營の必要あり總經費額貳拾萬圓を八年度以降三箇年度に亘る繼續費とし其の本年度年割額六萬圓を豫算せり

一朝鮮總督府醫院及道慈惠醫院新營の必要あり總經費額貳百五拾萬圓を八年度以降五箇年度に亘る繼續費とし其の本年度割額五拾萬圓を豫算せり

一釜山港內の浚渫、港口防波堤の築造、海陸聯絡設備の擴張、元山港陸上諸設備及臨港地區整理、物價騰貴に基き仁川稅關工事費追加等の必要あり總經費千百拾四萬五千五百圓を八年度以降六箇年度に亘る繼續費とし其の本年度年割額貳百五拾貳萬參千五百圓を豫算せり

一京城及平壤の水道擴張の必要あ

#### ▼朝鮮醫院及濟生院
大正八年度豫算總額は百五拾參萬九千九百七圓にして之を前年度豫算總額百拾六萬五千七百五拾圓に比較すれば參拾七萬四千百五拾七圓を增加す之れ歲入にありては物價騰貴及臨時手當增給の爲政府支出金の增加せる患者の增加に依る入院料及藥價の增加並維持資金の利子を計上せしに由るものにして歲出の增加は主として臨時手當增給に由る經費の增加、物價騰貴及患者增加に伴ふ藥品其他治療材料の增加、研究科擴張、癩患者收容增加の爲經費の增加を要する等に依る

#### 朝鮮醫院及濟生院資金部
大正八年度歲入豫算總額は壹萬參千五拾圓にして之を前年度歲入豫算總額[illegible]に比較すれば[illegible]を減少す是れ歲入に於ては前年度剩餘繰入の增加する見込なるに依り歲出に於ては維持資金に屬する有價證券の購入少なき見込なるに依る

### ◎米價調節策效果
少なくも上伸力を殺がん

未曾有の米價騰貴は國民生活の危殆として其の調節の必要は頃者之が朝野の大問題となり政府に於ても從來の如く自然放任に委する能はざるに至り結局

▲米價調節策　として（一）食糧品たる麥豆類豆澱粉の輸出禁止（二）以上の穀類製粉類酒類の輸入稅撤廢（三）四月限りより外國米の定期受け渡し代用を實施する事に決定せし旨東京電報は報じ來れり實施の效果に付有力銀行家の談に曰く麥豆澱粉の禁輸、雜穀製粉酒類の輸入稅撤廢は直接米價の供給增加に關係なく米價に及ぼす影響は要するに間接的なり然もかゝる所置を政府に於て執らざる可らざるに至れるは乃ち米穀供給の大不足を裏書するに均しくその結果農家先高見越し賣り惜みとなり定期市場にては

▲買方の猛進　を來し反つて米價を煽る事となるやも知るべからず然し乍ら右調節策の實施にて食糧の不足を訴へざる事となるべしその見當立たば自然米價の下押し傾向を誘致せん要するにその間の影響は人氣によつて決すべく人氣は目前に現品の堆積あるものならざるため各方面の觀測調査より生るべく大抵に於て政府の調査確實ならん又外米の定期受け渡し代用の四月限より實行さる、影響は期米の上伸力を少くも殺くべし唯外米輸入量幾何に上るべきかその

▲價格如何　並に期米受け渡しの格下げ如何等の問題が前途の強弱を決定すべきも要するに政府が大なる決心を以て米價の調節策を講ずることすれば相當の效果は期待して可なるべく自然鮮米にも影響は及び來らん

### ◎軍需品引渡
廿三日ボセットに入港せんとし港外七哩の附近にて流氷にあひ滿載の儘歸航せし朝郵汽船城丸は積載の軍需品全部を揚陸し運輸部出張所の手に引渡せりと

### ◎報告例別册改正
總督府報告例別册改正の件は三十日の官報にて發布大正八年一月一日より施行さるべきが右は客年十二月改正以降に於て法令の改廢、官制の新設等に伴なひ各部局課の報告を整理し樣式、報例に付相當の改正を加へたるものなり

### ◎內地行貨整理
本月二十一日以降滿鐵京城管理局にては內地行き運送貨物の託送申込みを現品提供主義に依り然も一箇月の輸送量以上は受け附けざる事となれる結果全線に於ける滯貨整理に著しき效果を及ぼす事となれるが十二月十四日夜現在の內地行き滯貨は左の如し

| | |
|---|---|
| 本州線米原以東行 | 一、八一九噸 |
| 同　彥根以西行 | 四、二〇〇 |
| 九州線及下關行 | 一、六六一 |

にして以上滯貨の一掃期は米原以東行十七日間彥根以西行二十二日間九州線及び下關行き三十一日間を要する都合なり尙ほ關釜間及び山陽線の輸送力は從來の如く一日平均八百噸なりと

### ◎東拓十周年
東拓京城支店にては廿八日創立十周年に相當するを以て午前十一時社員一同を階上大廣間に召集し川上理事より一場の挨拶をなしたり

▲功勞金給與　東拓にては十周年當日たる廿八日の現在社員に對しその年數の長短功勞の多寡に應じ同日功勞金を授與したり

### ◎遞信局御用納
遞信局にては二十八日午前十一時より長官室に高等官全部を集め御用納めの式あり式は持地長官の挨拶あり次で課長高等官代表挨拶にて閉ぢたり

### ◎廉價品低賃廢止
滿鐵京城管理局にては本年八月救恤又は廉賣の目的に供する穀類の運賃の低減を行ひたるが右特殊扱ひの件は來る三十一日限り之れを停止する事となれり

### ◎境諭之進氏
長谷川總督の令弟にて元總督府判事境諭之進氏は豫て病に罹り退職郷里山口縣に於て加療中なりしが二十七日早朝逝去せり

### ◎毛博士通過期
支那政府顧問モリソン博士は二十六日北京出發滿鮮經由內地に向ふ旨其の筋に通知ありたるが多分二十九日頃京城通過の事となるべし

### ◎佛國將校通過
二十八日朝釜山入港聯絡船にて佛國陸軍砲兵大尉パール、步兵大尉ユージン、同ジーユー、同ロシヤの諸氏上陸直ちに北行したるが一行は哈爾賓經由オムスクなるジヤナン將軍の許に赴くべしと（釜山特電）

### ◎葉恭綽氏出發
前支那交通次長葉恭綽氏は二十八日午前五時四十分着列車にて來釜直ちに東萊溫泉に赴き午後出帆の聯絡船にて內地に向ふ（釜山特電）

### ◎中野司令官
練習艦隊司令官中野海軍中將は幕僚十餘名と共に廿七日午前八時發第二浦[illegible]野と菱米三浦製鐵所長の東道にて工場を視察し午後一時四十分發列車にて仁川に向け發せり（鎭二）

### ◎艦隊午餐會
仁川碇泊中の練習艦隊は二十九日午前九時仁川拔錨鎭海に向ふ事となり同司令官中野中將は二十八日午後零時三十分旗艦吾妻に於て午餐會を催ふせるが仁川よりは楠野府尹松元警務長平井稅關長中島監督課長永井土木局出張所長等列席せり（仁川）

### ◎木村理事張宴
入城中の木村鮮銀理事は二十七日夜花月に京城官民知己約五十名を招待張宴せり

### ◎原田氏罹病
朝鮮郵船取締役會長日本郵船常務原田金之祐氏は東京の自邸にて數日來風邪に犯され一時熱度四十度に及び重態なりしも一兩日來漸次快方に向ひつゝあり

### 人事消息
▲林田金次郎氏（會計課長）歸省中の處二十七日夜歸城

▲松崎時勉氏（外事課長）東上中にて年內歸京の豫定なりしも原田會長罹病に付年內には歸鮮出來ざる由

▲十時潔次郎氏（總督府技師）農商務省に於て開催の蠶業技術研究會列席の爲二十七日附を以て東京出張を命ぜらる

▲鈴木萬次郎氏（總督府土木局技師）水道工事計畫の爲二十八日附を以て慶南、全州及統營に出張を命ぜらる

▲大塚常三郎氏（內務局長）往復約一箇月の豫定にて二十九日午後七時五十分發列車にて東上の筈

### 八面鋒
◇現內閣の食糧問題に對する無策な化政策は、トンと其功を奏せず、米價は止度もなく騰貴する一方なるより、さすがの山本農相も兜を脫ぎ、先づ外米だけにても政府の管理に入る、見込なりこ、今に例の傳家の寶刀を拔き放つの必要を生ずべし。仲小路前農相恐らくは微笑を禁じ得ず。

◇支那の講和委員は常識に於て吹いて曰ふ、支那は大陸に對する侵略につき甚だしく反對なりと。支那は自國內に於ける南北の不統一は自ら之れを調停すべく、他國の干涉を望まず、幣制も亦自ら之れを改革し、且つ支那に於ける外國の企業をも處理するの意あり。それが首尾克く行けば、御拍手喝采なり。

◇但し聞き捨てにならぬは日本の侵略こいふ言葉なり。[illegible]が亜米利加だけに、殊更に惡い字を使つて日本を中傷する積りならば、日本にても亦其の覺悟あるべし。

◇米國の講和委員は、獨逸より分捕の艦艇を盡く擊沈するを主張し、之を各國海軍の擴張に應じて配分せんとする計畫を極力阻止するに決せりとは面白し。序に陸軍の銃砲武器の全部を破潰し、平和の女神像でも建立せば、秦の始皇以上の手柄なり。

◇何でも面倒な問題を解決するには、其本となるものをドシ／＼叩き壞すに限る。例の國際聯盟なども、なまじ世界各國に國家といふものの存在するために起る難問なれば、米國は宜しく率先して先づ其の國家を破壞し、各國に向つて手本を示すべきなり。

時間表

大正七年七月一日改正現行

◎米國中學生の標語
『技術を知らぬは恥だ』＝學問は獨立心を養ふにあり

最近米英佛に教育視察を終へて歸朝したる野杉博士は語る『自分は約二箇年に亘つてホノル、サンフランシスコ、ロスアンゼルス、ソートレーキ、デンバー等に於ける東部及び英佛等の教育狀況を視た米國の教育方法は自由で開放的で而も秩序的であるばかりでなく設備の完備せるは何れも認むる所である、費用から云ふと教育費ばかりでも日本政府の豫算に相當し專門學校以上の學校も六百校もあり其學生は日本の中學生全部の十四倍にも當つて居る、米國は基礎教育に非常に注意して居る、小學兒童時代を既に五種に別つて（一）精神的に劣るもの（二）身體上劣るもの（三）內部的病氣の者（四）結核性のもの（五）移民の兒童等で心理學者と檢査官によつて其兒童が何れの種の學校に

◇適すべきかを決定しそれ〴〵の學校に送る精神上足らぬものは職業性の學校に內部疾患者又は結核性のものは露天學校と雖も而して窓を開いたもの又は全然野外或は林間等の教授法を採るそれ等の兒童を入れる特種の學校は完備されて居る、日本の如き各種の兒童を混合した突つ込みの教育法ではない、斯くの如く兒童の精神上から又肉體上から其特典に依つて啓發の方法を異にして適應した方法を執つて居る進んで中學程度になると先づ『二つの技術を知らざるは恥だ』といふ標語を最も深く教へる從つて既に特別なる

◇手藝を教へ印刷、電氣、瓦斯、電話、航空等の專門の研究をさせるとして各自論文を提出する故に中學に於て職業の素地を作るのである、又金を得る爲に學ぶにあらず獨立心を養ふ爲めに學ぶといふ感念が强い、更に小學校の三年半位から圖書館授業といふのがあつて學課以外自由に智能の

◇米國は基礎教育に非常に注意してゐる啓發を圖つて居る大學等も實に非常に進步したもので設備の完全は驚くばかり如何なる田舍に行つても大抵が在るそれほど米國は高等教育の普及を誇つて居る

◇邦人移民　多い地方より

□李王御參賀
元旦、總督邸御訪問

李王殿下には明年一月元旦　兩陛下へ新年祝賀執奏並に皇太子殿下へ同言上方御依賴の爲總督官邸御訪問、還宮後更に妃殿下御同伴新年祝賀の爲德壽宮に御伺候の筈なるが其御豫定左の如し

總督邸御訪問
午前十時十五分　敦化門▲同三十分　總督邸御着▲同三十五分　總督邸御發御還宮
德壽宮御伺候
午後一時　敦化門▲同十五分　德壽宮御着▲同三時　同宮御發御還宮

京城神社の
大祓式と除夜祭

三十一日は清淨潔白を好む我國性の淵源をなし祭祀上其意義深き大祓式當日にて京城神社に於ても式により當日午後八時より除夜祭を執行すべく其式順は當夜定刻前係員拜殿前庭に薦を敷き案を設けて祓所を整備し案上に祓物を供へ境內所々に篝火を焚き設時刻成れば宮司以下各職員各地方官氏子總代等着床祓主大祓の祝詞を申て大祓行事を行へば各員順廳を以つて祓を行ひ式を終り祓物は職員により直ちに漢江に流さる・ものにて祓を受けたき人は定刻前々庭に參集せらるべし、また大祓式終了と共に引續き本年最終の祭典たる除夜祭執行さる・由なれば例により雜沓することなるべし

◎前墺帝　重體
前墺國皇帝カール一世は流行性感冒に罹り容態險惡なりと（紐育電報）

◎クルツプ工場
織物工場となるべし
獨逸のクルツプ各工場は織物工場に變改せらる可しと（紐育電報）

▽クルツプ工場
職工廿萬を解雇せん
平和事業を始める

世界第一の兵器製造會社たる獨逸クルツプ工場が既に五萬の職工を解雇したる事は報の如くなるが最近其筋に達したる情報に據れば現在首府伯林に於ける失業者は約七萬人にして尚ほ將來益々失業者を出だすべき模樣あり殊にクルツプ工場は全然兵器の製造を廢し平和的材料の製造に着手する爲め最近二十萬人の職工を解雇し殘り一萬二三千の職工を以て其製造に從事せしむる由なり又ロッテルダム兵器製造所も造船工場に改めらるゝ由なるが目下同地は賃金高く何等憂ふべき狀態にはあらざるも吾人は大いに心を用ひ彼等の多くが有せる戰時公債を漸次償還して生計に窮せざるやう取扱ふべしれどもコハ長く續き得べきにあらず社會政策の完全に研究されし帝國なれども失業幾十萬の者は何時如何なる暴動に出づるやも測られずと（東京）

◎忠敬祭
ニユートン祭
理、大學で……

二十五日午後四時より東京帝國理科大學講堂に第三十八回のニユートン祭が擧行された、今年は丁度伊能忠敬の百年に當るので百年祭をも併せ行つた而して式は理學博士大谷亮吉氏の『伊能忠敬の事蹟』と題する講演あり次いで長岡半太郎氏の『理學史に現はれたるイギリスの十哲』の講演あり尚ほニユートンに關した書籍及び機械を陳列し展覽させ外物理器械、ニユートン祭の歌、蓄音器、幻燈等の餘興があつた（東京）

◎梁起鐸は
一個年間の
◇居住制限

曩に寺內前總督の暗殺を企て北支那西伯利地方に於て熾に排日的言動を試み支那に於て我官憲の手に捕へられ同地領事より警務總監に護送されたる梁起鐸及び張中宇の兩名の事に就ては既に本紙に於て報道したりしが右の二人は總監部高等課に於て審理中のところ保安法違犯の廉を以て本月廿八日より一箇年間の居住制限處分に附せられたり

◎心細い日本の羊
未の年に發展せよ＝當局の心配
日本全國で出來る緬毛が千住製絨所で一日に使用するのにも足らぬ……

來年は未の年と謂ふので、羊に對する研究は種々な方面に於て行はれて居るが、戰亂中緬毛の輸入杜絶したので、政府では盛んに緬羊の飼育を奬勵して居る、つい最近には農商務省は廿一日附けを以て緬羊飼育の補助費として沖繩縣に三百九十一圓宮崎縣に百六十六圓を交付して居る之は同縣に在ては一種の試驗費と謂ふべきもので、今日まで右兩縣に於ける緬羊の數と謂へば漸く沖繩四頭、宮崎一頭である、最も日本全國の緬羊數が三千三百七十頭しか居らぬのであるから、之れは極めて貴重な一頭である、扨て是等の緬羊が産する毛はどの位かと言ふと日本全國のものを集めても千住製絨所で一日に使用する高にも足らぬと謂ふのであるから其貧弱さに驚かざるを得ない所で是から

▲緬羊を繁殖させるにはどうしたらよいかと謂ふと、今日までは大部分は大抵濠洲から輸入したもので夫れも農商務省の手からしてさへ一頭五百圓にもつくのであるから中々民間の手には入らない、扨こで繁殖方法としてはどうしても子羊を殖すより外にはない其中産步合は種類、氣候、飼養管理等種々の事情に依て違ふが、通常母羊百頭とすれば、姙娠するものは九十頭乃至九十五頭其中八頭乃至十二頭は死産である、大正五年の統計に依るも一箇年の

▲出産高は僅に八百五十二頭中、牡が四百一頭、牝が四百五十一頭で、仔羊一頭（初生兒）が大抵五圓位、是から生ずる一年の收入が五千三百七十三圓、西洋のやうに一人に對し緬羊一頭の割合などは當分夢である、併し農商務省の方針としても、成るべく今は其繁殖に努力せしめる事や、之が補助費まで支給してゐる次第である戰爭は終つて平和は來たが未だ

▲羊毛の輸入などには到底及ばぬから、此の緬羊を行する牧場にありては十分研究に研究を重ね、幷して種羊の養成に努めて貰ひたいと當局者は語つて居た

◎勸業貯藏株式會社
重役收監さる

神田區東紺屋町四十七勸業貯藏株式會社取締役なる本鄉區根津藍染町十鈴木幸方長野金次郎（二四）神田區臺上代町二一二藤○神○務○（二○）の

▽仮名は詐欺賭博文書僞造使用證據湮滅の嫌疑にて二十五日東京地方裁判所川島豫審判事の命令に依り東京監獄に收監されたり其罪狀は明治四十五年十二月中故斉田梅四郎氏等と共に勸業貯金を目的として勸業貯藏株式會社を設立し會員を募りたるも缺員脫會等の爲め營業不振に陷りたるより大正二年中に國著名の處に於ても勸誘し本年十一月迄の間に本鄉區富士前町清水慶次郎外數萬人より七十一萬圓の貯金を騙取費消したることが發覺したるためなり（東京）

◎新光丸
＝沈沒す
四國多度津沖で
西京丸と衝突
鎭南浦精米　新井新藏氏所有帆船

一新光丸（二百五十六噸）は去る十二月十四日鎭南浦より銑鐵積込三菱製鐵所の銑鐵百五十二噸砂六千八百十八斤米千八百三十二石を積し大阪へ向ふ途中四國多度津の沖合にて郵船會社西京丸と衝突し沈沒せる旨其筋へ入電ありたるが該船は補助機附帆船にして損害四十五萬圓に達すべし

『寫場の人』としての婦人
初春の撮影の御用意＝薄化粧が必要＝衣裳は派手でなく＝昨今のお値段

新春の晴衣裳を飾られた令孃や紳士方が初春の撮影には寫眞屋の方で商賣の書入時でありますが寫眞を撮影される方に相當の心得が有ると無いとで勝手が大分違ふものです

◇令孃方で大事の御見合ひの寫眞など好く厚化粧でレンズの前に立たれる方もございますが、之は寫眞としては禁物でして却つて綺緻を惡くするやうなものですと云つて全くお構ひにならぬのも困へものでして一番好いのは薄化粧の程度でせう

◇鼻のお低い方は心持ち鼻柱を濃く白粉して左右にほかしましても

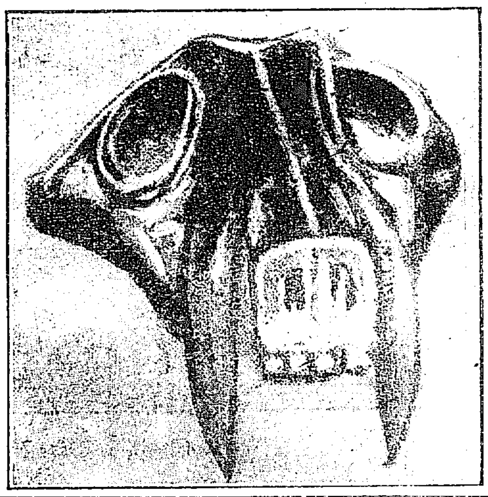
す、又衣裳の柄は別として地質は柔かな肌にしつくりと落附いたものが好い、ゴツ〳〵した木綿ものはどうしても面白くないやうです然し大體から申しまして能くまで

◇自然の態度を失はぬこいふのが『寫場の人』としての極意でして、無邪氣なお子供の寫眞の好いのも成る程と首肯れる譯です、お寫しになる方の一番好いところを逸早く見て取つて之れを甘くレンズに收めるのは寫眞師の技倆ですが、日本でも當今は餘程進步したとは云へ、

◇外國には及ばぬやうです何しろ外國では、寫眞を撮るにしてもお寫しになる方の寫眞を正面から、横から、と樣々に撮つて『これ〳〵』と云ふ御注文に應じて燒附けて差上げるのは撮影者と撮られる方の好い時には屹度寫眞屋も繁昌する事で、新調のお召物が出來ると注文に應じて燒附けて差し上げる

◇衣裳　ご寫眞屋とは離れられぬ關係があります、呉服界の景氣の好い時には屹度寫眞屋も繁昌するので、新調のお召物が出來る所に撮影におこしになる奧樣もありますけれど寫眞屋の寫場に名を藉りて隨分と高値を要求する寫眞屋も間々あるやうですが

◇昨今のお値段としては手札形（三枚）一圓三十錢、相板（同）二圓、中板（同）二圓五十錢、燒増は手札で一枚二十五錢、相板三十五錢、中板五十錢が相當なところでせう　市內某寫眞店調べ



▣清正の退治した虎の首

加藤清正が朝鮮征伐に行つた時、虎を三叉の槍で刺殺した事は皆樣御存じでせうが、その大虎はその當時漆詰めにして三百餘年後の今日迄無事に保存されてありましたそれが清正、彼つた兒と共に德川公家に秘藏されてゐたのを今度東京の帝國で催される東京娛樂會に出品陳列される事になりましたこの寫眞がその虎の首です

◎京城消防隊
出初式
＝恒例一月四日＝

◇三點の警鐘をならして……
京城消防出初式は明年一月四日總督府警務部構內廣場に於て擧行の筈なるが當日は午前八時半より五分間に亘り京城府內の各所火の見櫓より一齊に三點一號の鐘を打鳴らし同十時迄に府內の各署消防手任意手及び警務部防係の員は所屬防組を引率して式場に參着し同十一時より訓示式、而して警務部及び京城防組常備の編成は蒸汽喞筒、水管自動車、手動喞筒隊、水管馬車隊、機械馬車隊、機械梯子隊等にして各消防組、腕用喞筒、水管車隊、操械車隊、梯子を以て組織され警務長の巡檢を受けそれより直ちに壯烈なる演習に始さるべし、當日は先づ京城、龍山、新龍山の各消防組合一區の

▲梯子に三名の乘手を選み指揮官の命に依りて一名各三種の技術を演じ次に各隊、組喞筒應用に移り目標を中心として各喞筒一齊に放水を行ひ白龍空中に躍るの壯觀を呈すべし其他各種の餘興を終へて警務部長の訓示及び褒賞、目錄の授與ありて式を閉ぢ各隊、組は總督府警務總長邸、昌德宮を巡訪し敬意を表して解散すべし

◎聖公會のクリスマス
日本聖公會のクリスマスは廿七日午後六時から南米倉町の會堂に於て盛大に行はれた會堂一面に設けられた餘興場は美々しく裝飾されお話や音樂の合奏など面白い催しがあつてから一同茶菓の饗應を受け閉會したのは午後十時頃であつたが降誕祭の喜びは一同の顏に漲つて居た

◎軍人分會遙拜式
京城在鄉軍人分會にては明年一月一日午前十時より憲兵分隊司令部構內に於て遙拜式及び勅諭奉讀式を擧行すべし

◎某校長排斥問題
が賞與問題を導火線としたらしい
＝三教員は犧牲となつて廓清すると云つてゐた＝
釜山教員連袂辭職問題續報

敎育界の癌腫とも云ふべき釜山小學校敎員連袂辭職問題に就いて其後聞く所に依ると該事件は最初警察で嗅ぎ付け取調を開始したもので府廳側は警察の活動に依つて初めて夫れと氣付き

▲急遽調査を爲すと共に昨日東各小學校長を招致し斯かる痛恨事を發生せしめた責任を詰問し且善後策に就いて協議しつゝある模樣であるが今回の醜態暴露の動機は云ふ迄もなく年末賞與に對する不平であつて如何に物質の外に超然たるべき敎育者とは云へ衣食足りて禮節を知るの經濟問題を等閑視すると云ふ事は到底出來ない殊に目下世間は多少好景氣の下り坂とは云ふもの、今日迄

▲物價騰貴の苦痛を堪へて來た揚句年末賞與は昨年よりも少額だと來たので彼等も的外れた處から心中自ら平かならざるものがあるのは無理からぬことかも知れない所が其不平を自己の地位をも省みずして言動に現はすに至つたと云ふことは實に不謹愼極まることで社會の批難は當然である併し尙ほ聞く所に依ると彼等を驅つて斯る不穩の行爲に出でしめたに就ては此外に未だ

▲隱れたる原因があるかも知れぬ夫は即ち府內某小學校は俗に『華族小學校』と呼んで多く上流階級の子弟を收容して居るが同校の某校長は勤續多年頗る老練家であるけれども近來其擧措に於て部下敎員の首肯し難いことが往々あり不知不識の間に兩者の意思は融和を缺いて同じ敎員室內に居りながら常に其間に厚い牆壁の存在するが如き觀を呈して居た又府內某小學校長某は此所謂華族小學校の非校長派側敎員に對して非常に同情して居たと云ふことで今回の賞與問題は單に導火線となつただけで遂に彼等は某校長

▲排斥運動の火の手を擧けて府廳側に於て府尹始め當局者と各校長との協議行はれつゝある一方不平敎員連は二十八日夜某々料理店等に會合し同事が鳩首謀議を凝したさうであるが今後の彼等の態度當局の處置等は刮目して見るべきものであらうと某有力者は語つた（釜山特電）

◎劇界の……
＝新思潮＝
勸彌は何故出たか
◇習慣や傳說を破る◇

我が劇界にデモクラシーの思想が入込んだと云つても蒙昧があるかも知れないが然し此の場合のデモクラシー百姓は一揆やドンゲリの夾耳へを指すのではない

▽多數者が　正又は善と定める所に向つて習慣や傳說を打破つて進むと云ふ意味である先づ此の機運に喚かされて舊套から脫した最初の勇者は彼の守田勘彌丈の東彥三郎であつて而して此の事件は又大正七年度劇界操筆の出來事であつた、扨て勸彌を代表者として此の舊劇界を支配す可き若手俳優連が何うしてこのデモクラチックな思想にかぶれるに至つたかを少し調べる必要がある本年は

▽數十年來、いな芝居大繁昌の年であつた從つて役者共も非常な意氣込で面白い藝を續々舞臺に披露したが殊にも若手俳優連は丁度技藝に油が乘つて來た時なのでその溌剌たる藝を見せつけられた見物殊に頭腦ある若い青年達は從來憧憬の的として居た新劇を棄て見ようこの考へを抱かせるに至つた

▽爆發させ　ようとしてゐた矢先き先づ勘彌彥三郎がその一の狼火を揚げた他の連中は世間の騷ぎが甚だしいので一寸出足を止められ目下の形勢を觀望してゐるも勘彌が成功すれば風を望んで上場されて然もそれらは多大の成功を收めてゐる在來の如き

▽お家重寶の刀の行へをなどにしない芝居でも十分客を引ける事が判つたから此方面にも新しき作物が注入され來つた事は中々若き俳優も相俟つて新しき作物の萌芽すべき時が來たのだ

▽喝仰する　だけ大だけ彼等の技藝に
て、此等舊劇の若手の芝居に赴いた、そして彼等の技藝に

▽集めた物　もあつたが、然しばらんキーちやん達の他愛もない趣味

△俳優の所　には同年來の文士連が集まつて頻に晩に彼等の頭に新しい刺戟を與へると云ふ事は知らず識らずの間に在來からの格式とか門閥とかよりも藝その物に俳優それ自身の力量を云ふ物を重する氣風を自から釀して現在の自己の家柄にすがり附いて居ようとする考へを離して遮二無二技藝の練磨に精進し

▽新脚本を　演じたいとの野心を起させるに至つた又自己の技藝を自由に人々と比較して見たいと云ふ心が附いてはそれぞれ立ちで立派な演じ手が附いてゐるより腕一本で天下を握つて見ようこの考へを抱かせるに至つた

◎女優團來鮮　二十八日朝入港連絡船新羅丸にて中野女優團演藝倶樂部一行三十六名上陸北上したるが京城に於て新春初興行を打つ豫定なりと（釜山電）

◎島田氏令孃　京畿道支配人島田房太郎氏長女政子嬢（一六）は豫て病氣中の處廿八日午前九時永眠せり葬儀は廿九日午後四時大和町東本願寺に於て執行すべしと

◆メソヂスト敎會　前十時半より『大正七年を顧みて』『中村敎師午後七時『年末の敎訓』

◎忠北道長訓示
忠淸北道長官の訓示大要如左
局の影響は物價の暴騰勞銀の
抑も生產者にして其の收入の大
無益の費を惜まざるの風習を馴致せむとするの虞あり是れ深く戒めざるべからざる所なり
は一家經濟の破綻を來し終牛の不幸を招き大は國家經濟をして不振の域に陷らしむ今や世界戰亂漸く
本分を守り節約に努め稀有の增收は奢侈浪費の弊を矯め浮華虛飾の爬を省き一々貲金の貲途に向け納
稅の資を養ふは勿論或は是を新地
落同權の法を講じ以て務め時局終了後の經濟變動に備へ小は子孫
敎養の途を完ふし家內の福利を納め大は邦家の安寧を希ふの心懸
に鑑み深く戒告する所あらむことす

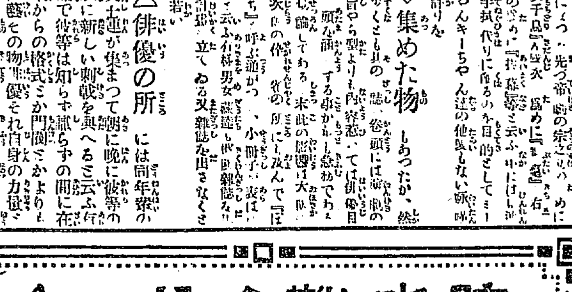
◎連絡船上客　二十七日午前入港德壽丸
（京城行）子、岡鼻淳太郎、同君子、
陸二二等客
　…浦田良介、同ゆきの、平田きよ、福本幸三郎、吉木れい、赤谷啓吉、平川かめ、平田美和、高木しげ、小林大吉、同まつ、同きよ子、岡みよ子、石上正恵、井川忠雄、伊藤寅一、陳璟、吉田彌三郎、桑原しげる、桜木一郎、橋本龍治、稲村俊吾、前田幸、林比野、新吾、宮原秀俊、平田勝吉、辻わか、辻み…

天氣豫報　曇り後

謹啓嚴寒之候益々御清祥奉大賀候陳ハ弊社儀從來硫酸アンモニア肥料及完全肥料各種ノ製造販賣罷在候處格別之御引立ヲ蒙リ難有御禮申上候就テハ業務擴張ノ爲メ今般渡邊氏經營ノ朝鮮肥料製造所（蒸製骨粉、骨炭、膠等製造）工場並ニ其業務一切ヲ讓リ受ケ候ニ付同所ヲ分工場トシテ完全ナル設備ノ下ニ益々品質ノ改善ヲ計リ朝鮮産業ノ發展及ビ農界ノ覺醒ニ聊カ貢獻微力ヲ發揮致シ度存念ニ有之候何卒一層ノ御愛顧御引立ヲ賜リ度御挨拶旁御願申上候
大正七年十二月
朝鮮京城光熙門外
京城工業株式會社支店
營業課目　硫酸アンモニア肥料、完全肥料各種、蒸製骨粉、膠及骨炭、其他諸肥料
工場　京城光熙門外　電話長二三五六番　振替京城五四二番　電信略號（ケ）又（ケコ）
分工場　京城東大門外　電話二六三五番

謹啓益々御清適奉慶賀候陳者弊所多年骨粉肥料及膠其他ノ製造販賣罷在候處多大ノ御引立ヲ蒙リ逐次隆昌ヲ來シ候段難有奉感謝候然ル處今般都合ニ依リ從來ノ工場並ニ其業務一切ヲ京城工業株式會社ニ讓リ渡シ候ニ付從前ニ倍シ御愛顧ヲ賜リ度伏シテ奉希上候
大正七年十二月
京城東大門外
朝鮮肥料製造所

營業創立明治二十八年
各時計蓄音器卸商
貴金屬製作卸所
京城黃金町二丁目
喜多金光堂
電一〇一五・振替京城七八二

防水靴クリーム


靴チヤフト印　國粹印　市場に於けるダイヤモンド印
最優良品　實質本位　最も德用品
社長　安樂象道　技師長　西潟岱治
製造發賣元
東京市本所區緑町三丁目二十七番地
株式會社　東洋化學工業研究所
電話本所一五三三番　振替東京二七八一四番
代理店募集　目錄進呈

諸物運搬人夫供給　請負業　村上組
組長　村上喜代藏
事務所　龍山元町三丁目　電話四六六番

（前頁より續く）……の增加を來し生活に餘裕を生じたるの故を以て動ちすれば徒らに奢侈美食を好み〔不明〕能力を減少し……所得の安固と保續とを計り或は貯蓄に〔不明〕……總分にても調節の目的を達すれば誠に結構な事だと思ふ

# ◎平北經濟狀況

平安北道廳調査

◈金融◈

金融の緩急金利の高低並に其の原因に就て見るに例年の如く十一月に入り弗々土地の賣買行はれたると諸税納入期に至りたるとは次項に述ぶるが如く新穀の賣買牛の賣換及び冬向諸雜貨の仕入賣出等と相俟つて相當資金の需要を喚起し今春以來初めての金融繁忙裡に越月せり

今之を平安北道金融機關に就て見るに貸出に於て百八十一萬一千餘圓を算し前月に比し二十一萬三千餘圓の增加なり回收は七萬三千餘圓を減じ月末貸出現在二百十五萬一千餘圓にして前月に比し實に二十六萬七千餘圓の增加を示せり

預金も從つて減少して三十五萬九千餘圓と爲り前月に比し二萬一千餘圓の減少なり之を貸付金用途別に就き前月と對比すれば只工業に於て二千餘圓の減少を見たるの外農業四萬一千餘圓商業二十一萬七千餘圓其他一萬餘圓を增加せり

然れども民間金利は場所に依り相違あるも概ね二分乃至二分五厘の間を上下し前月と大差無かりき

◈集散◈

貨物集散の狀況及び物價の高低並に其原因として本年の氣候は昨年に比し溫暖なりしと農家の資金無かりし爲め新穀類の出廻り遲延せしも本月下旬に入り市日毎に出廻り始め移出側に在りても月初めは時局の關係と鐵道輸送難とを懸念し且一般に買控ひの氣味なりしが同じく下旬に入り南鮮大手筋より米の買付注文可なり到來したり

諸穀の價格は本年に至り僅少下落し來に就て之を見るに沿線地方概ね三十七圓內外にして其の新義州相場は十一日三十八圓十日三十七圓二十日三十六圓二十五錢平均三十七圓〇八錢なり又奧地々方に於ても三十一圓內外の見當にして前月に比し一圓方下落し其の他穀類に至りても概ね之に追隨したり

◆雜貨● 上流地方向け諸雜貨は前月を以て一段落を告げ沿線地方にては冬物仕入の爲目下相當荷動きありたり其の價格は講和風に依り幾分下向くべき豫想したるも事實は之に反し上向一方にして就中

◆石油● の如きは品薄の結果暴騰に暴騰を加へ前月の價格より又二圓方騰貴し一箱十四圓內外を唱へ今後尚品薄の狀況を繼續する模樣なるを以て何處迄暴騰するか實に天井知らずの有樣なり

◆其他● 惡性感冒の流行は京城方面に於ける麻布の騰貴を爲り同方面より賣註文頻到し在庫品拂底の狀況にして之が價格は日本反一反三圓三四十錢なりしもの四圓七八十錢と爲るに到れり

◆木材● 方面は輸送難の爲原木の供給少く向興材の鮮內需要は結氷期に入り建築界の閑寂期と爲りたると相俟つて需要減く荷動き僅少にして其の價格保合の姿なり

◆牛● 牛は時節柄買換一般に行はれたるも其の價格は講和風に依る內地向買占手控への爲にや前月に引續き下落し普通成牛十圓方乃至五六圓方低落し尚其の兆あり

◆新炭 は本月に入り其の出廻り相當にして前月以前の如く品薄に苦しむこと無く價格又幾分下落せるを見たり

◈産業◈

◆農工業其の他● 農、漁、林業等の狀況は農家は本月に入り上旬秋耕、蔬菜類冬期貯藏漬物、上中旬に亙り收穫物處理、屋根及び溫突修繕、下旬種子交換、大豆粒撰、薪材伐採等の爲繁忙裡に越月せり

◆農作物● は未だ其收穫量確定せざるも粟、玉蜀黍を除くの外一般に平年作以上の收穫なる見込なり

◆鑛業● は前月に引續き同じく沈衰一方にして言ふに足るもの無し

林業は奧地々方に於て稍々伐木期に入り山入する者多少あるを見たり薪炭に就ては下旬より其の出廻り最盛期に入り市日毎に相當に搬出せらる

◈通貨◈

通貨は朝鮮銀行券圓滑に流通し一分券比較的寡少の感あり前月少量流通したる日本銀行券は漸次回收せられ折々散見するに過ぎず補助貨は銀貨殆んど市場に現はれざるも小額紙幣は如何なる山間部落にも行渉り不足の聲を聞かず唯五錢白銅貨は一般に依然拂底し取引上不便なることを訴ふる箇所皆無なり支那貨幣は銅貨沿線地方に於て其流通前月に比し少しく增加せるも言ふべき程のこと無し其の他の支那貨幣に至つては市場に片影を止めず

# ◎石油饑饉と法外な値

## 鐵原では一罐十圓もしてゐる

下關內外石油會社鐵原販賣所長池永幸太郎氏は元山平壤方面の商況視察を了し〔不明〕したるが其の談に曰く（釜山）

既に石油も高く爲つた樣であるが、其原因は品拂底の爲め需給關係が圓滿に行かぬ結果である事は論を俟たない處である尤も飛行機、自動車其他工業の勃興と共に原油から製造する揮發油の量が激增され且つ

◇海軍用の重油 も亦其の現象を示した爲め自然石油の醸額に影響を及ぼした譯である、從つて石油の輸入增加に見れ得ないのは必ずしもあらうと思ふ、自分が〔不明〕十八九圓で取引され殊に鐵原では十五六圓高い處で一函安値な處で一罐十圓と云ふ〔不明〕各地の需要者の〔不明〕

社から直接特約店へ取引されつゝある値段は大體世間で騷ぐ程高値ではないが第三者の手に渡つた後需要者との間に或は

◇多額の利益 が收められつゝあるのではあるまいか小賣の如きは現に各地樞要の地でさへ一升一圓から一圓十錢を唱へ一合買ひになれば十二三錢で販賣されてゐる、此の現象は實際に品拂底であるが各地の〔不明〕であるが〔不明〕では少し小賣方法に付いて熟考の必要があらうと思ふ、本社でも

◇約五千函 を限り本社各特約店に於て、山大洞管內に於て一函十三圓で當局及需用者に直接販賣を〔不明〕し各地〔不明〕

# ◎奉天近事

奉天支局　老禿生

◇金建尚早論は常に大連を根據として叫ばれる樣な結果を見せてるのは大連の爲めに執らぬ處であらうと思ふ、彼の金券統一の際に於て識題として論究された其の時も大連は金銀問題が南滿各地に於て議論を喚び今回の銀資缺乏に於ても金の引締に際しても矢張り尚早論の樣だ

◇其の理由は幾何でもあらうが……左樣金券統一の時期と僅に一か許りしか經たないから其時の理由もまだ殘つて居よう……時代は餘程進展して來てるのを第一番に自覺せねばならぬ、勿論四方八方は大連には極めて緣故の深い方だから土地の事情や其の他萬般の事に就いては何事をも知らぬ無識者である

◇が此の立派な日本の租借地であつて當然日本同樣な位置、否或る程度までは日本を代表して此の滿蒙の經營の策源地根源地とならねばならぬ大連が今以て銀建でなければ仕事が仕難いと云ふ樣な事では誠に心細くなるではないか、其れ△だ此の兩面がある如くに四方八方は其の無理を全然無視して云ふ譯でもないが

彼の金券統一の際も現地たる滿鐵……大連よりは日本人の勢力も遜弱で支那人は古い歷史を持つて土地柄でさへ……金券を歡迎しないたさへあるに、又今日では長春ィに金銀併用を決議してるし開原は金銀併用には贊成してる模樣だが何分大關係を有せる大連が今以て〔不明〕を變へて〔不明〕

だ法螺が峠を下らぬのである

◇乃こで此の際大連が一ご奮發して一時に全く金建に轉換せよとは希望せぬ……此の併用を宣言したならば日和見の連中は直ちに併用を實行するに相違ない、日和見は豈開原一地のみならんや、滿洲各地に於けっ金建が併用されゝ樣になれば商取引も極めて容易で且つ安心であるのは今更喋々を要せない處である

◇一體今回の銀資缺乏などに當つても云ふた樣に甍ねてるが上海方面へ輸出されたのが大なる原因の一つである、それは何故輸出されたかと云ふと、長江一帶の棉花の出廻期に際し天津青島等の棉花は日本內地とは相場に於て不引合只上海のみが出合ふと云ふので棉花買付資金が急遽上海に集まつたのである

◇それからモ一ッは休戰！平和！と流石の大戰爭も終極の緒か下りかけて來た爲めに銀にも多少の動搖は來せる者と見て如何だか知らないが多額のものが賣られた其結果は銀券發行の基礎の論の無い事で、る揚くゝ加へて滿洲方面は需用物の出廻り期に會したので需用は增加するが本元・減じたと云ふ對の現象を呈したから困つたのである

◇斯の如き無理はない所の如き際に金銀併用が決行されるのは當然の道行きではあるまいか、殊に將來は是非共金本位にならねばならぬ筈の土地柄である丈け機會を得る毎に遷善に導くのは邦人の使命ではあるまいか、剩へ特產物と雖も滿洲に於てこそ取引がされてるけれども一〔不明〕

面もあるが金本位の國に向つて行くのも決して少くないのである

◇是れが最初から金取引であつたならば其の商內は極めて敏速に且つ安心して行はれる筈である、何好んで危ない瀨々踏まなくても宜しい筈である、此の際當業者の猛擬と努力と而して一般人士の決心を促したい所以であると結んで置く

# 九星の解剖

## 素人早判り法

雲井堂主人

（下）

### 原理は至極單純

九星の原理といふのは五行則ち木火土金水が順に廻るのと逆に廻るとのことによつて吉凶禍福が岐れるといふ占ひ方である、故に

水……一白、
木……三碧、四綠
火……九紫、
金……六白、七赤、
土……二黑、五黃、八白

の如く一白から九紫迄を五行に配して所謂いふ理屈をつけてゐる。

水…木を生じ　木…火を生じ
火…土を生じ　土…金を生じ
金…水を生じ　之にて還元す

であつて則ち水（一白）は『水木を生じ』『金水を生ず』とあるから木（三碧、四綠）と融和するのみならず金（六白、七赤）にも善き事になる、それから木（三碧、四綠）は前の如く水（一白）に善き許りでなく『木火を生ず』とあるから火（九紫）にも善き事になる、又火（九紫）は木（三碧四綠）に善き外『火土を生ず』で土（二黑、五黃、八白）にも善き事になる、更に土（二黑、五黃、八白）は火（九紫）に善き外『土金を生ず』で金（六白、七赤）にも善い事になるソコで金（六白、七赤）は土（二黑、五黃、八白）に善き外前記の如く『金水を生ず』で水（一白）にも善き事になつて還元するのである、故に其結果として左の如くになる

（水）の一白は（木）の三碧、四綠及び（金）の六白七赤に吉
（木）の三碧、四綠は水の一白及び（火）の九紫に吉
（火）の九紫は（木）の三碧、四綠及び（土）の二黑、五黃、八白に吉
（土）の二黑、五黃、八白は火の九紫及び（金）の六白、七赤に吉
（金）の六白、七赤は（土）の二黑、五黃、八白及び（水）の一白に吉

之に反して凶い方でゆくと次の如くになる（剋すは殺す意）

水…火を剋し　火…金を剋し
土…水を剋し　木…土を剋し
金…木を剋し…還元す

故に凶い方は前の『相生』と反對にゆくのである、故に水によつて木が育ち、木によつて火を生じ、火によつて土が生じ、土によつて金が生じ、金によつて水が生ずるの如くに對し若し反對に行けば木は土の養分を吸取るから凶、水は土に吸込まれるから凶、水は火を消すから凶、火は金を溶かすから凶、金は木を殺るから凶といふ即ち相剋に基づくのである其の原理とする所は多少幼稚な點もあるが兎に角此の九つの星を按排して『順』『逆』即ち相生、相剋を占ふのである。

### 所が單純に行かぬ

九星の占ひ方を概言すれば前述の如く一白から九紫までの星を年日及び時刻に配して之が常に循環し又各人の生れ年に配して例令ば明治五年と同十四年・同二十三年と同三十二年生れ及び文久三年生れ安政〔不明〕の人は二黑土星であるから大正八年は九紫火星の歲に當るので『火土を生ず』の理によつて誠に芽出度い歲であるといふ樣なものである

### 其他に複雜な方法

所が茲に九星の占ひ方に就ては色々複雜な方法を設けてある、例令ば同じ土星でも五黃の人即ち嘉永四年、萬延元年、明治二年、同十一年、同二十年、同二十九年、同三十八年生れの者は大正八年が九紫火星の歲で『火土を生じ』て善い歲でなければならぬが五黃の本命星は坎宮に當ち一白水星の座に入るから『土水』で剋されて善くないといふ如き例がある、因に二黑は坤宮則ち七赤金星の座に入るから『土金を生ず』でこれとて何方も善い事になる

### 要するに結論は茲

然し乍ら茲に更に亦種々繁雜な占ひ方が設けてあつて、九星の先生は其に就つて、例令ば坎宮（一白）とか乾宮（六白）か（七赤）であるとかの星回り其外十干支命とか九星の命運とかを參酌して種々の運命を占ふのであるが要するに其根元とする所は前記水火木金土五行の相生相剋に基づくものである。故に本式の九星判斷を下すには餘程の時間と勢力を要するから、勢ひ專門の易士に鑑て貰ふより外はないといふ結論になる。

因に各人には九星の五行以外に納音といふものがある、例令ば木性とか水性とかいつて楊柳の木だとか大海の水だとかいふ類で昔は此の納音を相生にして婚禮をしたものであるが此の納音の水火木金土と九星の木火土金水とは全然別種のものである

# ◎雪や氷

## 白頭山の頂は既に白皚々として

豆滿江は次第に結氷す

昨今白頭山の頂は既に白皚々として其下を流る、會寧附近の豆滿江は河下漸次凍結するに從ひ水流妨げらる・結果本月二十一日會寧洞附近の江水一渡船場附近の江邊に堆積しありたる豆滿江一帶の江水（？）約三千袋其他雜貨品浸水したるより直ちに引揚げんとしたるも寒氣と凍結の爲め容易に捗らず其中忽ち全江凍結の如く凍結したる之れが採取に困難なるに至れる諸凍結品は殆んど價値なきを以て〔不明〕

○大邱の學術研究會　大邱南道婦人會護婦學術研究會にては去る廿六日午後七時より大邱慈惠醫院講堂に於て第六回總會を開き諸種有益なる講演ありたりと

# ◎氷の名所の

## 安東縣に於て官民聯合の

## スケート大會

安東縣に於ては例年鴨綠江の氷を利用して盛んにスケートの練習をなし殊に一昨年の如きは滿鮮大に聯合大會を開催する等斯道の爲め萬丈の氣焰を吐き居たるも昨年は紀元節と共に開催の準備まで整ひしに拘らず暖氣意外に早く來りて多少危險を顧慮する必要ありしより至然中止するの已むを得ざりしより今年は更に大々的計畫の下にスケートの練習に引續き適當の時期を見て大會を開催すべく計畫中ならるが水川郵便局長等發起人となり二十七日午後六時より同好者の計畫を立てたるが會長は森領事を推し幹事數名を選任すべしと氷結を見たる由なれば本年は最も理想的の前力にして會場は滿橋通り江岸渡江に委託し〔不明〕は頗る壯觀を呈すべしと（安東縣）

（前掲續き）……て損害四萬餘圓に達すと尙ほ會寧附近の豆滿江は去る二十二日全く渡船不可能となりたれば數日後には牛馬車の氷上通行差支なきに至るべし尙ほ本年は暖氣なりし爲め例年より結氷遲れたり（清津）

# ◎賑かな歲の暮

## 各地とも未曾有の繁昌で歲を送る

◈安東縣◈

郵便の上から見た繁榮〔不明〕の如く去る十五日より年賀郵便の引受を開始した安東縣郵便局の取扱は既に本年の年賀郵便の取扱に就て如何なるものであらうかと水川局長に聞いて見る。何が扨し昨年の年賀郵便はと表を見ると十二月十五日から一月五日まで引受けた年賀郵便は二十萬一千五百四十三通ぞら〔不明〕が今年は二割五分增加と見て二十五萬枚を下るまいとの見當である相當な今年安東縣局で賣り出した端書の總數は

◈二十萬枚 是れが全部年賀郵便にのみ使用されるものとは思はれず亦其の內の幾分かは印刷屋さんの手に印刷されて他地方に送られたものもあらうが官製ハガキの外には私製ハガキもあり封筒に名刺を入れられたのも大分見受けるし且つは封筒のものも相當にあるからザット二十五萬枚との見當は當らずと雖も遠からずの處にあらう尙ほこの數を證明するに足る

◈有力な證據 は去る十五日より二十四日迄受け付けた數によつても何割位增加と云ふ見當は付くそれに昨年の數も判明して居るより割り出して證據立てする事が出來る即ち

十五日　三千五百八十二（十六日千七百十二（十七日）千七百四十七（十八日）四千五百十二（十九日）四千四百九十二（二十日）六千三百二十四（二十一日）六千二百九十七（二十二日）八千八百九十一（二十三日）八千二百九十一（二十四日）九千七百九（合計）五萬五千五百十二通

を昨年の同期日に比すると二萬〇〇八十六通の增加であるから

◈五割五分強 の增加を示して居るから二割五分強と推定することは強ち無理な增加率とは云はるまい、殊に年賀郵便の多忙期は二十六七日から二十九日の締切まで一層盛んである事は例年の實驗に照して明かなる處であると云ふ序に十五日より二十四日迄の電報受付配達高は本年が七千四百十二通昨年の同期間は五千三百五十一通で僅に千六百九十三通の微增である

◇◇城津の大雪◇◇ 三日間に亘りて降り續ける城津の大雪は降れども〳〵止まず此の先き三日降り續いたら何んでも沒するであらうと心配されて居る程全く稀有の大雪であつた（城津）

# 廢物利用

## 主婦の心得

◆古澤庵の食方◆ 澤庵の古くなつたのは、まことに困るものですが、あれを細かにきざみ、油でいためて醬油と砂糖を少しばかり加へ、直ぐ鍋をおろして食べると旨いです。

◆味噌漬澤庵◆ 澤庵漬の上側のとこ……色も惡ければ、味も悪いものですからといふものは薄く切つて半日程水に浸け、肴の煮汁などで煮ますと大變旨しいものですから澤庵には鹽氣がありますから尤も澤庵には鹽氣がありますから鹽加減に注意せねばなりません古い澤庵も同じ方法でたべられます

◆キャベツの芯◆ キャベツの芯の堅いところは別に用途のないものゝ、大抵捨て、しまふものですがあれを糠味噌漬にしておくと、なかく旨く食られます。

◆西瓜の皮◆ 食たあこの西瓜の皮をとつておき、水氣のあるころで顏を擦りますと、顏がきめ細かします。それから日焼を防ぐ効能もあります。

# 川柳壇新設

選者　劍花坊先生

川柳は平民文學中の最も親しみ易き詩にして、源を江戶時代に發し、明治三十六年井上劍花坊先生起つてこれを新時代に當てはめしより日に月に隆盛を極めつゝあり、本紙も來大正八年一月の紙上より川柳壇を新設し、劍花坊先生を以て選者とし、左の方法を以て弘く今吟士を迎へんとす

（一）用紙ハガキに限る、無制限なれども題每にハガキを別にせられたし（二）一月十日〆切（二）京日社川柳壇係宛（二）表面に「川柳投稿」と書入る・事

（題例）京……城……日……報……詠込四句一組

京（字結び意味共に宜し）

京の町を所で上り下り　古川柳
京で見た物言ふ花を忘れ　劍花坊

城（同上）

楠が鼻を抑へて采を振り　古川柳
今になり日に傾城は拘ら　古川柳

日（同上）

十三日迄は大石笑はれ　劍花坊

報（同上）

電報の危篤は心矢の如し　劍花坊

## ◈かるた早取法◈

新年の青年雜錄に『かるた早取の祕訣』といふ記事があつたから、紹介しやう『新年には種々なる遊戯があるが、其中でも最も高尚で最も趣味の多いものは小倉百人一首の加留多の遊びである、そで、此加留多を何うしたならば、札が早く取れる樣になるかといふに、其祕訣としては

（一）百人一首を暗記し置く事
（二）同じ文字のある間違い易い札を記憶し置く事
（三）我持札の並べ方と其記憶
（四）札の取り方
（五）心神を沈靜になし置く事

以上は加留多早取に最も必要な大祕訣であるが、其中で（一）（二）（三）は是非共心得ねばならぬ加留多取の土臺とも云ふべきものであつて（四）（五）は其等立派に備はつて後に心得ねばならぬものであると』


# 風立初め候

荒れを防ぎ色艶の美を保つ美顏ユーマーの御用意肝要と存じ候

# 月出でゝより

物皆美しくユーマー出でゝより人皆美し、自然の力、學者の力

# 美顏ユーマー

桃谷研究試驗所創製の美容液にして光榮ある御化粧料三十六種の內

# コールタール

京城瓦斯電氣會社特約販賣
龍山漢江通り八　電話四九番
金物商　島田忠作商店

# 婬羊藿エキス

人參三優ル強壯劑
通稱三枝九葉草エキス
贈答品は年末年始の
贈るに體裁よく受けて實用萬人向で吃度喜ばれる本品を御奬め致し升
二十五入　壹圓　三十五入　壹圓五拾錢　四十五入　壹圓九拾錢　五十五入　貳圓貳拾錢
朝鮮京城府　合資會社京城日報社代理部　電話六千九番樽內十八番　振替京城三〇〇番電略（ケ）
京城特約店　山岸天佑堂　北島支店

# 結核專門　古賀病院

佐賀縣三養基郡基里（鳥栖驛ヨリ四丁）
顧問　醫學博士　古賀玄三郎（診察）
期日　來る一月三日ヨリ一月九日マデ　七日間（診察午前中）

模範　牛乳　孝子軒御用
ニウソ　洗粉　石鹼
太正塚肥製　主　場
京城蓬萊町四丁目　東亞牧場　電話五二二番

# 花柳病　外科專門

●梅毒●淋病●泌尿生殖器病●睾丸病●肛門病●皮膚病●婦人病●神經衰弱ヒステリー
京城南大門通鮮銀行裏　司生堂醫院　電話三〇六五番

告　在鄉軍人

一月一日午前十時京城大和町練兵場に於テ遙拜式及勅諭奉讀式擧行候條會員ハ參列相成度
帝國在鄉軍人會京城分會

內地歸省中二付年末年始缺禮仕候
京城府太平通一丁目八〇ノ二
多田順二郎

長女政子儀豫而病氣の處養生不相叶今廿八日午前九時逝去致候に付此段辱知諸賢に謹告仕候
追て葬儀は廿九日午後四時大和町曹溪寺に於て相營み申候
十二月廿八日
父　島田房太郎
親戚總代　江頭菊太郎
　　岡本龜吉
友人總代　木尾倉二
　　村一靜
　　藤村忠助

荊妻梅子儀病氣の處本日午前九時死去仕候此段辱知諸彥に謹告仕候
追而葬儀は明二十九日午後二時自宅出棺元町寺に於て營み申候
大正七年十二月
夫　木谷安吉
親戚總代　淵本朋定
　　奧野長吉
　　大和與次郎
友人總代　川田又藏
　　兼古禮藏
　　貴田音七

◈社寺と教會

●京城組合教會（南大金町）午前十時……
●京城日本基督教會（長谷川町）午前九時日曜學校午十時禮拜說教〔不明〕に臨みて」秋月致氏午後七時傳道說教「〔不明〕」秋月致氏

天氣豫報　晴後〔不明〕

# 毛谷村六助 卅六番角力

二百三席 桃川桂玉口演 浪上義三郎速記

信長は保月城を兵糧責にいたさうと十重廿重に城を圍みましたが、此の保月の城内へ今まで兵糧を送つて居たのは、丹後の國山に惣右衛門の舎弟で丹波守影保といふ者があつて、是まで兵糧を送つて居つた處、其の道を遮られました故、保月の城内では在るだけの兵糧を食ひ盡してしまひました、此上は潔く討つて出んと城兵に於て勇氣更に衰へません、此方は信長、逆も是は尋常では保月の城は乗取られまいと思ひ、福富平左衛門を呼んで 信『其方太儀ながら長濱へ參つて藤吉郎を丹波へ同道いたしてくれ』福富平左衛門心中に何でも大將苦しくなると藤吉郎〳〵といふが、然し味方の大事故平左衛門は早速長濱へ參りました、藤吉郎

秀吉は軍師竹中半兵衛と毎日丹波路の戰ひの模様を注進によつて知り、高築強くして家を仆す、却々保月の城は尋常では取れぬ、今に大將より使を寄來すであらうと待構へて居りました、處へ平左衛門が參りまして 秀『イヤ是は福富氏御苦勞千萬、何うだな戰さは』平『イヤもう連戰連敗、今御主君は御後悔にも見ゆれど、如何せん柴田明智の兩人が何でも戰ひを勸める故退くことが出來ぬ』藤吉郎笑つて 秀『先づ柴田、佐久間、明智と三人皆同様の者だ、及ばざるを知つて永く戰ひを好む、秀吉參つて保月の城を乗取つて御覧に入れよう』と福富平左衛門を歸し、三千人の同勢を從へ、長濱城は竹中半兵衛に頼んで保月を指して出陣いたし日ならず保月の城下へ來ると、織田の同勢は常風竹葦の如く取圍んで居ります、處が此の保月の城は形は小さいが要害は頗る宜しうございます、秀吉久々にて信長公にお目通りをいたしたる處 信『此

度其方を長濱より呼寄せたるは餘の儀でない、丹波路へ手を入れてより既に三年に相成れど、保月一城の爲に平定の運びに至らぬ、其方計略あらば遠慮なく申せ』秀『恐れながら只一城の保月の爲に五萬の大軍を以て三年の年月を費し猶之を落すこと能はざるは、織田家の名譽に拘りまする、速かに平定いたさなければなりません、それに就て此の城責は斯く申す秀吉一手に仰付けられたく』是を聞くと柴田勝家が、ソラ又初まつた、何でも此奴一手で引受けるのが好きな男だと面ふくらして 勝『藤吉郎もすれば汝は一手〳〵と云ひ、又しても此城を一手を以て貰ると いふが、汝一人が織田の家來でない、他にも數多の家來がある』秀『如

何にも御當家に數多の家來あることは秀吉存じて居るが、三年の日を費し落城せざるが故に、秀吉一手に仰付け下さらば速かに落して御覧に入れる、大勢交つて戰ふなれば秀吉御免を蒙る』勝家怒るまいことか 勝『世の中に戰さをするのに交らぬといふことがあるか、不埒な事を申すな、今まで此の柴田、佐久間、明智、丹羽、池田等必死となつて戰ふと雖も、城將光政武勇鋭くして今日まで落城いたさぬ、然るに汝一手を以て責立るとも落城いたす氣遣ひは無い』秀吉笑ひながら 秀『是は元老の仰とも存せず、凡そ戰ひは智勇備はらざれば勝を得難し、勇一方を頼みに爲すとも容易に落城いたすまじ、計略は即ち智である』勝『ヤヨ藤吉、其の位の事は汝が云はんでも勝家心得て居る』秀『然らば元老勇を以て落されば智を以て之を落し早く當城を落したら宜しからう』勝『それが光政の武勇の爲に落ない』秀『其故此を落すは即ち智者の爲す業である』勝『コレ藤吉、今汝の鼻の頭へ指を當てたのは何だ』秀『智者の爲す業だと云ひながら、鼻の頭へ手を當てたのは何だ』秀『左様即ち拙者の爲す業』勝『不埒な奴だ、然らば其方一手ならば必ず落すと云ふな』秀『然れば拙者一人にお任せあれば速に落して御覧に入れる』始終を聞いて信長は秀吉に一手責を申付けました。

## ◎新義州雜俎

▲府協議員任命 新義州府協議員鄭相橋氏過日辭任届け出でに付其後任として老松町金兆鍋氏任命せられたり

▲ホテルの招宴 新義州鐵道ホテルは二十六日午後七時より新義州安東間の新聞記者數名を招待して降誕會祝賀の意を含みたる晩餐會を開きたり

▲旅團幹事演習 平壤步兵第三十九旅團長井戸川少將以下十九名は二十三日新義州に來り一泊二十四日は義州に於て旅團幹部演習執行中なりと

▲加藤鴨江社長 母堂の訃により郷里滯在中なりし加藤鴨江日報社長は二十四日午後八時着列車にて歸社したり

▲殖銀支店移轉 朝鮮殖産銀行新義州支店は元朝鮮銀行出張所を引き受け修繕中の處既に落成したるを以て二十三日より移轉執務せり

▲憲兵所長異動 江界憲兵分隊高山鎭分遣所長軍曹阪西正二氏は昌城分遣所長に義州分遣所付に同分遣所付軍曹水野保治氏は高山鎭分遣所附に更迭せらる

## ◎安東縣近事

▲泰誠醫院落成 朝鮮人李昌郁氏の獨力經營にかゝる泰誠醫院は數月前より安東滿鐵醫院附近に新築工事中の處既に落成したるを以て來年匆々開業すべしと因に同氏は千葉醫専の卒業生なり

▲學校記念發行 安東尋常高等小學校は創立滿十周年に相當するを以て記念帳發行の計畫中なりしが既に脱稿を見たるを以て印刷所に廻送したる由なれば不日發刊を見るべし

▲安東の野犬狩 安東警察署に於ては去る十五日より野犬撲殺を行ひ來りたるが去る二十一日迄の成績は六十一頭に達したるが年末多忙の爲當分中止する事となるべし

▲滿鐵醫院長 滿鐵安東醫院長福見淳太郎氏は都合により二十四五日頃歸任の途に就く旨通知ありたる由なるが新夫人同伴たるべし

十二月三十日 舊十一月廿八日▲辛壬 命三碧▲暗劍東▲さつ

▲三碧▼ 用心すべき日也 南吉し凶
▲四緑▼ 何ごとなく穏しく面白き日
▲五黄▼ 合點のゆかぬ事ある日也
▲六白▼ 乗出すこと損をなすべき日
▲七赤▼ 初に合はざることある日
▲八白▼ 福徳を入れらるゝ様な日
▲九紫▼ 福運のいりかゝる様な日
▲一白▼ 目下より立てらるゝ日也
▲二黒▼ 貸用運び事に出遇ふ日

汽車 京釜線(南行) 同(北行) 湖南線(南行) 同(北行) 京義線(北行) 同(南行) 京仁線(仁川行) 同(京城行) [illegible]

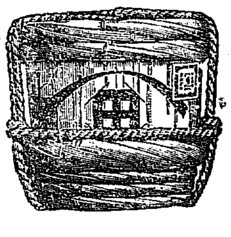
冬來る!

品質本位 花王石鹸

皮膚の衛生に 温浴を召さるゝ時には、品質が最も純良と認めらるゝ 即ち帝國陸海軍、帝國大學病院、赤十字病院の採用品を お召しなさい

花王石鹸製造元 東京馬喰町 長瀬商會 / 花王石鹸西日本總代理店 大阪安土町 大崎組商會

●御進物は●本場みかんに限る 有りふれたるみかんと同一視する勿れ ●御贈答品は品種各種取揃あり ●本年は 箱以上は卸賣値段にて迅速配達可仕候
果實青物委託販賣 内 果實 青物 海産物 外 雜穀 大紀州柑橘 紀柑園組合指定問屋
問屋 岩 京城南米倉町 岩城商會 振替京城一〇〇六番 電話八四二番 有隣生命保險株式會社京城代理店

宮内省御用達

ヒゲタ醤油
千葉縣銚子港 銚子醤油株式會社醸造
代理店 京城明治町二丁目 櫻正宗發賣元 山邑京城支店 電話長八四九番・一四五四番 振替貯金口座京城七五番

診察時間 自午前九時 至午後六時 初診の御方は可成午前中
京城長谷川町一丁目(朝鮮銀行裏門前) シメノウチ齒科醫院 電話八一二番

寫眞 京城日寫眞製版部

最新刊 滿蒙通覽 女子ペン習字帖 碧巖集 荷風全集 朝鮮法… 大阪屋號 京城本町一丁目

七日ツケタラ鏡ヲごらん色白くなるゲンソ液 小壜二十錢 徳用四十錢 今度東京大阪共の元祖液色黒き顔赤き顔日ヤケ白粉ヤケアレ防ぎキメ細かに眞に色白く美人美男子となる全國の藥店小間物化粧品店にあり 近所に品切の時は切手代用御送附あれば送品す 東京新川和泉町 松本藥房

體裁もよく耐久力にも富み而して最も安價に使用し得る自轉車ダイヤこそ誰しも望む所。然し旅も三拍子揃ひしダイヤと云へば現代のダイヤ中 ダンロップを措いて他に殆んど求むべからず ……◇到る處の自轉車店にあり◇……
□ダンロップ自動車タイヤは各自動車店にあり□

新案獨學 イロハ辭典付 鮮語自在
誰れにもすぐに間に合ひ 必ず上手になる理想的新案獨學書なり
發賣元 京城太平通 京城日報社代理部 (振替京城三〇〇番)
ポケット頁形 二百 定價 五十錢 送料二錢 代金引換小包七十錢

百貨呈進 りん病 ばい毒 帝國醫科大學病院 にせ物と好商 大阪有田 京城南大門外停車場通 大阪有田ドラッグ 龍山練兵場前停留所ドラッグ支店


大阪商船株式會社出帆 朝鮮郵船出帆 日本郵船仁川出帆 [illegible]

京城日報 第一版

# 京城日報

## 通俗教育改善案(中)

第五項にいふ、善良なる讀物等を選擇して之を推薦し併せて出版物の取締に關し一層の注意を加ふる事。其の理由に曰く『出版物に就ては、單に消極的に之を取締るのみにては、國民の思想を善導するこゝ困難なるべし。故に政府に於て進んで積極的の施設を爲し、或は適當なる讀物を編輯し、或は懸賞募集を行ひ、或は民間の出版物にして、健全優秀なるものを買上げ、或は價値ある思想を振作すべき、外國思想家の著作物を飜譯する等、適當の方法に依りて、善良なる讀物を豐にし、之れが普及發達を獎勵するこゝを要す。之こ同時に出版物の取締上に就ても、內務、文部兩省の主任こ連絡疏通して、一層の注意を加へ、積極、消極の兩方面に於て適當の措置に出づるの要あるを認む』こ。

由來我が出版物は、汗牛充棟啻ならずこ雖も、十中八九までは、所謂陽當り的のものにして、讀書界を利益するものは甚だ鮮なし。特に國民的讀物に至りては、鐘大鼓を以て捜すも全く之を發見し得ざるなり。此の如きは要するに大文人、大著述家の出現せざるに歸するものにして、人爲を以て如何こも爲すべからずこ雖も、及ぶべき限り、此の缺漏を補ふの要あるはいふまでもなし。凡そ一國の風潮は國民的讀物に因つて維持せらる。こは、必ずしも之れを歐米諸邦の例を引くにも及ばず、我德川時代に遡れば、こゝに著明なる例證を見出すを得べし。本項の主張は、全案中最も重視すべきものなりこす。

第六項にいふ、通俗圖書館、博物館等の發達を促し、之に備へ付くべき圖書、及び陳列品に關し、必要なる注意を怠らざる事。其の理由に曰く『通俗圖書館巡回文庫の施設は、近時地方に於ては、大いに普及發達せしむるものありこ雖も、之を概言すれば、此施設は甚だ不十分なる地方多きに居るが如し、更に通俗圖書館の內容を改善し、常に健全なる讀物を備へしむるの必要あり、之がためには文部省に於いて、一層完全なる書籍目錄を、成るべく迅速に調製して、之れを配布するの要あり、又通俗博物館の如き、觀覽的教育施設に至りては、頗る幼稚にして見るに足るべきもの稀なり、博物館の如きは、最も有力なる通俗教育上の機關なるが故に、文庫、通俗圖書館、教育博物館の如きは政府其普及を圖り、公衆に對して其理由を詳論せんこを要す』こ。

第七項にいふ、通俗講演會を獎勵し、一層適切ならしむる事。其の理由に曰く『通俗講演會は、從來當局者に於て最も之れが獎勵に力を致し、地方教育會等の活動を促したるを以て、漸次各地方に普及せりこ雖も、其方法內容等に於て、尚適切を缺き、改良を要すべきこゝ尠からざるが如し。又近時追々發達の機運に向へりこ雖も、未だ系統的講演の開始を見るに至らず。故に將來通俗講演會の內容を改良し、一層適切ならしむるこ共に、徐々之が普及發達を圖るこゝを要す。且つ新に系統的講演會開催の施設を獎勵するの要ありこ認む』こ。以上二項の理由は、極めて明白にして別に評釋を要せず。

第八項にいふ、活動寫眞其他の興行物の取締に關し、全國に及ぼすべき準則を設くる事。其の理由に曰く『活動寫眞其他の興行物は、之れを善導するに於ては、通俗教育の發達に資するもの頗る大なるものあるべし、然るに從來此等に對する取締は、各府縣區々に亘り、啻に連絡統一を缺けるのみならず、方針未だ一定せず、從つて方法又備はらざるものあり、而して近時東京其他二三の地方にては、活動寫眞等の規定を設け、或は映畫檢閱標準等を定め、取締の方法に改良を加へ、其效果見るべきものあるが如し、依て政府當局に於ては、速かに準則を定めて、全國一般に之れを施行せしめ、各地方の連絡統一を圖るの要ありこ認む』こ。

興行物の通俗教育に大關係あることは、從來こ雖も之を認めざるにあらず。吾人は曾て日本國民の思想は、過半芝居又は講談等に因りて釀成せらるこ唱へたる先覺あるを聞けり。隣邦米國にては戰時中活動寫眞を利用し、國民の思想を緊張したることは、近時に於ける著しき事實なり。殊に活動寫眞の如きは兒童の最も愛好する所なるを以て、其の弊害のみを認め、徒らに觀覽を禁止するが如き消極の手段を取るは無策の甚だしきものにして、進みて積極的に利用するの法を講ずるは、本項の主眼こする所なるべし。

## 發展せる支那經濟(十五)

### ▽江北訂鐵公司

普濟公司は四川省に於ける英人の會社なるが其代表者リットルは千九百四年保富公司こ稱する支那會社こ合同して江北訂鐵公司なるものを設立して彼の龍王洞石炭礦採掘を契約するに至りぬ保富公司は當時四川省內に於ては官民の合同に成り四川の礦山採掘に關しては最も有力なる權利を獲得し居れるこ傳ふリットルが保富公司の代表者こ▲契約を締結したる條項は十八箇條より成り採掘地域を四川全省中六州縣及び官民に開掘を許可せるものを除く外一帶なるを指定し採掘種類を鐵石油石炭に限定し普濟公司は一千萬元を出資し保富公司は七百五十萬兩を出資するここに定む其後に至り普濟公司は四川省煤鐵油公司こ石炭石油鐵礦の開掘を目的こする契約を締結したりこ傳ふるも實情未だ詳ならず四川の礦山利權の獲得に關しては英佛が競爭極めて熾烈なるものありて英佛各三十萬圓の運動費を要したりこ云へば此一事に徴するも略當時の情況を想像し得べし今後英國が▲適當の機會に於て再び探礦權獲得の爲めに運動すべきは敢て推測するに難からざるべく亦湖南省礦物專賣權なるものは未だ支那政府こ英國の間に正式の承認を得たる合辦事業に非ざるも英國人が湖南省產出の礦物に對し二三の礦山こ專屬の契約を締結し居れるは事實にして既に久しく手附金を交付し居れりこ云ふ而して專賣權を有する礦物は鐵石及アンチモニーなりこす英國が獲得せりこ稱する礦山利權の大要は此の如し然らば轉じて我國の中部支那に於ける利權は如何

### ▽漢冶萍公司

漢冶萍公司に對する我國の關係は支那に於ける我國の鐵山利權中最も重要なるものにして所謂漢冶萍公司なる會社は實に明治三十八年大冶鐵山、萍鄕炭山及び漢陽製鐵所の三大事業を合併して設立したるものなるが此計畫の端緒こも云ふべきは彼の大冶鐵の發見せられたるに基づくもの也抑々大冶鐵山は支那第一の產鐵地にして今其▲探礦の濫觴を尋ぬるに遠く唐の禹永興年間に在り此時始めて大冶縣なるものを置き其後宋代に至りて更に鑛冶監なるものを開くに至れり當時遺跡今猶存し半錆の鐵石の遺棄せられたるもの山積し其量優に六千噸以上こ稱せらるゝに徴して當時の面影を髣髴せしむ近代に至りて彼の湖廣總督たりし張之洞氏が古書に大冶之劍なる語あり且つ其他の古書に於ても大冶に鑛を開きて金鐵を鑄たるを讀せるものあるが故に此地方に必ずや鐵礦床の存在すべきを信じ獨逸人の技師ライノン氏を聘して實地之れが踏査に從はしむライノン氏は千八百九十年▲大冶に赴き▲揚子江岸より約二三十哩の間をば二旬に亘りて探査したる結果遂に古代に於る製鐵の遺跡を發見し次いで世界無比なる本冶鐵山を發見するに至れり大冶鐵山は湖北省武昌府大冶縣に在りて漢口の下流七十哩に當る長江の右岸黄石港より南方に入る約二十哩にして其位置に達すべし同鐵山は縣の北部數十哩に亘りて鑛脈を連ぬる山地を總稱せるものにして此鑛脈に含有するものに鐵、銀、錫、銅、石炭、石灰等なるが最も主要なるものは鐵なりこす又此鑛脈に當る山名は鐵山、獅子山、尙上山、晚山、下陸山、沙帽子山、白楊林等種々あるも現に開採せるものは▲鐵山獅子山等の數箇所にして其他は民有地に屬せり然して近時に至り附近の象鼻山、銀山頭の新鑛山を發見し漢冶萍公司に於て之が採掘權を獲得しつゝありこ聞く鐵山の高さは二百米突餘にして鑛量實に四千萬餘噸こ稱せられ含有鐵分は百分の六十乃至七十にして我が釜石の產に優れりこ云ふ又獅子山は高さ二百米突餘にして約三千萬噸の鑛量を有す單に是等露頭鑛量のみにても優に一億噸こ豫定せられ更に冶鐵山に屬する全容積十六方哩の鑛量を見積る時は無慮二億噸に達すべしこ云ふに至りては驚くべき一大富源こ謂ふべき也(某經濟通報)

## 對米提供船全部返還

去る十月中旬米國政府は本邦より同國に提供し居れる船舶二十三隻十五萬噸の傭船期間を更に六ケ月間延長繼續したき旨の要望ありしを以て遞信省は關係各方面こ協議の上米國政府要望の根本義に就ては別に異議なきも兎に角(一)講和の締結ありたる場合は△縱令六ケ月の傭船期限到來せざるも直ちに解傭せられたし(二)傭船繼續に要する費用は米國政府に於いて負擔せられたし(三)乘組船員の手當は平時支給額の六倍を加へて支給せられたし等の條件を附して其要望に應ずべき旨回答し置きたるに對し米國政府より更に講和の成否如何に拘らず六箇月間傭船致し度しこの交涉ありしを以て遞信省にても再び各船主こ打合せの上右の要求に應ずべき旨回答したるに△本月廿二日 米國政府より重ねて第一回通りの條件ならば繼續傭船致し度きも其の他の條件附にては返還致し度しこの申込ありたれば遞信省は關係者こ種々協議の末愈々全部を引揚ぐることに決定し其旨外務省の手を經て二十五日米國政府へ回答したるが之が返還の細目に就ては更に交涉の上決定すべしこ云ふ米國政府が以上の如き交涉を爲し來りたるは察するに休戰條約の成立講和の準備等に依り同國の形勢に急激なる變化を來したる結果にして隨つて傭船延長に要する費用の節減を計り且つ危險區域を航行せしむる傭船の乘組員に對し平時手當に七倍する△手當を支給することを欲せざるに依るものなるべし因に本邦提供船總數は當初二十三隻十五萬千二百噸なりしも內岸本汽船の目尾丸(四、〇〇〇噸)日本郵船の仁川丸(五、三〇〇噸)の兩隻は遭難喪失したるを以て返還を受くべき船舶數は二十一隻重量噸十四萬千七百六十三噸なりこ

▽引揚影響 別項の如く我國より米國に傭船中の船舶二十一隻此の重量噸數十四萬千七百六十三噸は結局近く返還せらるゝこなる可きが其返還に依り我海運界は如何なる影響を受くべきかに就き當業者の觀測を綜合するに目下日本より△米國行貨は十弗乃至十五弗を唱ふるに拘らず復航に於ては幸ひに鐵材の輸送せる爲め四十三弗乃至四十五弗見當を維持せり然るに此提供船の解傭に依り漸次之を一掃せらるべきを以て同方面の運賃は暴落するに至り延いて一般遠洋航路の運賃も之れに連れて低落するは勿論此等船舶の幾分は近海航路に侵入す可ければ左なきだに船腹過剩の爲め下押し一方を示せる近海運賃は一層下押しを見るは當然の成行なるべく而して定期傭船は目下大型△二十八九圓中型二十三圓小型十七圓を唱へ居るも返還船中約五萬噸は社外船なるが故に此等は漸次傭船の場に現はれ來り更に傭船料の低落を助長す可し斯くの如く運賃及び傭船料にして低落する時は之れが利廻りを基礎とせる船價は勢ひ低落せざるを得ず而も二十五日の所に達せる電に依れば英國より八千五百噸級及び六千五百噸級の船舶合計八隻を出來得る限り速かに引渡す條件にて買手を求め來れりこ云へり既に戰爭は終熄を告げたること、て戰時中船價は其打破こ共に愈々△鎖國的値段を現はせし我國の船價は世界的標準相場に接近する運命に立ち至りたるを以て急轉直下の勢ひに依り或程度迄低落するならんこ(東京)

## 墺匈國の政變(二)

東京 一記者

乃ち前記の如く諸民族の形勢が、逐日險惡に趨き、時局の收拾殆んご不可能こなるに及んで、十月十日前後に墺國首相フサレック、匈國首相ウエケルレ孰れも辭表を捧出するに至り、墺匈外相ブリアンも十月四日の對米通牒以來國內各地に擾亂が起り、策の施すべきもの無く

▽遂に掛冠し アンドラッシー伯が之に代つて十月二十八日米國大統領に對し講和の要請を爲すに至つたのであるが、既に各民族が中央權力を否認した後であつた爲め、此の講和要請は如何なる權力を代表したものであつたか疑問である。然し中央政府は尙ほ諸民族の融和に腐心し、以て聯合委員會を召集せんとしたが、スラヴ民族を始め獨逸民族さへ出席を拒みて成らず、墺國に於てはフサレック辭職の後ランマッシュ內閣を組織し、十一月一日皇帝は詔勅を發して匈牙利南スラヴ等の獨立を認めたけれども、國民の願ふ所こならず、遂に十一月一日カール

▽皇帝の退位 を見るに至つたのである。然るに之より先十月二十一日、國民大會なるものが催された。墺國內獨逸稱族の自主權を主張し獨立國家の成立を宣言し、國民議會召集迄墺國議會の獨逸稱族議員より成る假國民議會を組織し、平和談判國際關係の交涉並に立法及び行政權を行ふべき旨を決議し、政體及び憲法は國民議會の決議に附すべきことを定めたのである。又十月三十日維納に暴動が起つたこいふことが傳へられたけれど、さして擧事を演出せざりしものゝ如く、翌三十一日の閣議には、假國民議會議員も列席したが、アンドラッシー伯を好ましからぬ外國人こして

▽追放すべき 旨を決議したこいふ(因に同伯は當時の墺匈國外務大臣であつた)又國民議會は墺國政府こ交涉し、獨逸族居住地域に對する統治權を得たこのことであるが、此の墺國政府こいふのは有名無實のものゝやうである。而して獨逸族中今回の革命に際して、其の中心人物こなつてゐたのは、墺國內獨逸社會黨の首領ヴイクトル、アードラーであつて機關紙こしてアルバイターツアイトングこいふを有つて居り、既に疾くから獨逸社會黨こ連絡を執つてゐたもので、這回の革命に當つても恐らく連絡を保持して居ることであらう。

京城日報 定價 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 發行兼編輯人 奥田 印刷人 小川三之介


婦人公論 新年特別號 現代の惱み號

九大公論
◇官僚主義の惱み…吉野博士
◇中流階級の惱み…馬場孤蝶
◇結婚難及離婚難…本間久雄
◇家庭婦人の惱み…平塚明子
◇戸惑せる花嫁(朝の惱み)…茅原華山
◇結婚を困難ならしむる理由…大澤博士
◇劃一教育と我等先生…木村久一
◇子を持つた親の惱み…山田わか
◇現代婦人と出產難…久保博士

物價騰貴の今日に際して… 一家の經濟をどう遣り繰りしてますか 三十六夫人の實際生活をお讀み下さい

小說
◇白い鳥…田山花袋
◇傾城大橋(長篇好評嘖々)…池田大伍
◇嵐の曲…長田幹彥
◇娘も憎い…上司小劍
◇黑髮…坪內士行
◇醜い顏(現代の惱み)…森田草平

九大讀物
◇鎌子再度の家出…澁谷黄葉
◇大學秀才の罪…小泉花水
◇女十五夜は明けたり…矢田挿雲
◇都會の灯に身を焦く女…小野賢一郎
◇母子相擁して投身自殺…遠藤薰村
◇低分限者の嫁選み…中川愛氷
◇所謂新しい女の哀み…中村孤月
◇身の上相談と愛の惱み…大月隆仗
◇放火女優か冤罪か…澤田撫松

結婚難の聲 ‖懸賞當選發表‖
◉本誌本年の活躍を見よ
定價五拾錢 郵税二錢 振替東京三四二 東京市本郷區西片町十 中央公論社

婦人之友 新年 清福號
到る處に主婦の會の設立を提議す…羽仁もと子
婦權と婦德…文學博士 三宅雪嶺
生活革新の工夫…三輪田元道
新家計法(一)…羽仁吉一
◇一體何うしたら一流の家計を安全にすることが出來るでせうか
◇一體何うしたら一流の家計を進歩させることが出來るでせうか
大繪附錄 男女兒一年間の洋服(婦人之友社實地研究發表)
ひびあかぎれの妙處方
赤坊のお湯の使はせ方
機械を使はない絞り染
實際の家計大小六種
衣服の食物の問題
一絃琴…上司小劍
幻影…松居松葉
愛と劍…松本雲舟
他に比類なき新年號
婦人の時代
定價廿八錢 郵税一錢 東京雜司ヶ谷 婦人之友社 振替東京六〇〇


朝鮮製紙株式會社 第貳回決算報告(大正七年下半期)

貸借對照表

貸方(負債之部)

| 科目 | 金額 |
| --- | --- |
| 株金 | 五、〇〇〇、〇〇〇・〇〇 |
| 借入金 | 一三〇、〇〇〇・〇〇 |
| 職員職工身元保證金 | 三、九六二・六〇 |
| 預り金 | 一八、五四七・〇九 |
| 掛買金 | 九二九・五四 |
| 王子製紙株式會社勘定 | 一、四二八、六五三・二〇 |
| 假受入金 | 一九四、五五四・三六 |
| 前期繰越利益金 | 一四、七四一・八一 |
| 合計金 | 六、七九〇、九八八・六六 |

借方(資產之部)

| 科目 | 金額 |
| --- | --- |
| 未拂込株金 | 三、七五〇、〇〇〇・〇〇 |
| 地所 | 二〇二、〇八四・二九 |
| 建物及諸作物 | 四、五八七・五〇 |
| 備品 | 一〇、六〇四・〇四 |
| 銀行預ケ金 | 一九三、七三八・二六 |
| 有價證券 | 五四、五三〇・三〇 |
| 貸金 | 五〇、〇〇〇・〇〇 |
| 建設費 | 一、〇四七、一五九・九七 |
| 貯藏物品 | 三〇七、三四六・一一 |
| 山林部勘定 | 三一〇、七七四・三〇 |
| 支出金 | 八五八、五六八・〇八 |
| 現金 | 三一六・一五 |
| 當期損失金 | 一、二七九・六六 |
| 合計金 | 六、七九〇、九八八・六六 |

以上

右報告候也 大正七年十二月二十五日 朝鮮製紙株式會社 取締役會長 藤原銀次郎 常務取締役 原教三 取締役 大橋新太郎 取締役 有賀長文 取締役 高島菊次郎 取締役 大田直 取締役 小笠原菊 監查役 高野省三 監查役 田邦 監查役 飯田延太郎


京城本町一丁目 大阪屋號
朝鮮法令輯覽 販賣
商品券
ろしあ傳說集
日蓮主義の運用
最新刊

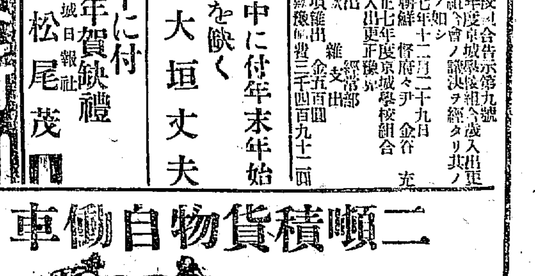
喪中に付年賀缺禮 京城日報社 松尾茂

上京中に付年末年始の禮を缺く 大垣丈夫

京城學校組合告示第九號 大正七年度京城學校組合歲入出更正豫算組合會ノ議決ヲ經タリ其ノ要領左ノ如シ 大正七年十二月二十九日 京城學校組合管理者 朝鮮總督府京城府尹 金谷充
大正七年度京城學校組合歲入出更正豫算 歲入 第十款 雜收入 歲出 經常部 第一款 第五項 雜支出 金五百圓 第十二款 豫備費 三千四百九十二圓

武俠世界
痛快無比 新年號
參謀本部の幽靈 星名中尉
無人島の初日の出 松本芳山
ヴェルサイユ宮殿の歡聲 武俠記者
痛快の氣炎 正月
武俠悲劇 亡國 新井正敏
探偵小說傑作集
大實業家の青年時代
名力士の長所と短所
探偵小說 毒手 山本柳葉
探偵小說 證據の麻裏 白浪
小說 探偵の美人 假面 加藤朝鳥
黑面醫者の變死
金貨密賣犯の捕縛
大發明家か大詐欺か
黑焦死體の搜索
秘密旅團 探偵長の娘 白川健次
幕末探偵奇譚 金瘡 泉豐春
本號に限り定價卅八錢 東京上野櫻木町 振替三四〇六〇 武俠世界社

旅行中に付年末年始の禮を欠く 京城古市町 苦米地造酒彌

二噸積貨物自働車

米國バレブリツクツ自働貨車會社製
輸入元 大連 西川光太郎商店
朝鮮特約代理店 榮洋行 京城永樂町二丁目 電話壹四七番

# ◇第四十一帝國議會（二十八日）

## 貴族院

貴族院は廿八日午前十時開會德川議長より支那、葡萄牙、南米ウルグアイ（巴西國）（小共和國）諸國立法部より平和成立の祝電ありしに對し答電を發せる旨報告あり次に全院委員長選擧に移り總數二百十二票の中二百九票の多數を以て德川賴倫侯當選し後木越更に常任委員選擧に先だち移れる全院委員を選擧し奉答文案を議し滿場起立最敬禮裡に別項の如く可決せり（東京特電）

### ▽奉答文

貴族院議長臣德川家達誠恐誠惶謹ミテ叡聖文武天皇陛下ニ上奏ス第四十一回帝國議會ノ開會ニ際シ茲ニ盛典ヲ擧ケ優渥ナル勅語ヲ賜フ臣等慶テ叡旨ヲ奉戴シ愼重審議協贊ノ任ヲ竭シ以テ皇猷ヲ翼贊セン事ヲ期ス臣家達恐懼ノ至リニ勝ヘス謹ミテ奉答ス

## 衆議院

衆議院は二十八日午前十時十分開議長參內中に就き濱田氏議長席に就き諸般の報告あり後全院委員長の選擧に移り投票總數二百三十七票の中百六十一票にて金澤仁作氏當選し濱田議長代理より此旨宣し次で書記官をして元田肇以下十三名より決議案高木益太郎氏外三名より衆議院議員選擧法改正案の提出ありし旨を報告せしめ次に常任委員選擧に移り各部室にて選擧す同十時五十分休憩（東京特電）

### ◇奉答文捧呈

德川大岡兩議長は二十八日午前十時五十分參內陛下御風邪の爲め波多野宮相御沙汰を奉じ兩議長に面接し奉答文受領の上左の勅語傳達されたり

勅語

朕貴族院衆議院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス

畢りて兩議長退出兩院の上夫々報告せり尚波多野宮相は委曲の趣き伏奏する所ありたり（東京特電）

# ◇伯林海兵暴動　陸兵と砲火を交へ遂に降服す

共防紊戰＝二十三日より二十四日に亘り伯林にて海陸兵の暴動あり一時市の秩序紊れたるが如し原因は革命以來海兵に占領せられ且つ內部の貴重品を掠奪されありとの風聞ありて伯林の宮城を衛戍司令官に於て强ひて明け渡さしめんとし二十一日支給す可き水兵の給料を交附せざりしに起るが如し其顚末を報ぜんに二十三日宮城の海兵は司令部を襲ひ司令官ウエルスを捕縛し之を兵舍に拉致し鎭撫に派遣せられし陸兵と海兵との交涉となり一時は穩穩となりしも遂に爭鬪となり廿四日海兵は宮城に據り防禦し陸兵は砲並に機關銃を以て之を攻擊し多數の死傷者を出したる後海兵遂に降服す（東京特電）

# ◇米大統領倫敦著

米國大統領ウイルソン氏夫妻は廿六日倫敦に到著せり（倫敦電報）

# ◇特使一行桑港著

牧野男一行は二十六日桑港著二十七日朝紐育に向へり牧野男は桑港にて公式聲明書を發し男一行中の何人もヴエルサイユにて討議さるゝ問題に關し直接又は間接に論議するの自由を有せずと述べたり（桑港電報）

# ◇對露新政策協定

聯合國の對露干涉に就て英陸相は武力干涉を可とする旨聲明せるも內閣多數の意見は武力干涉は戰爭を再開するものにて復員不可能なれば之を不可なりとし佛國も國力挽回を計るべき今日對露干涉に更に大なる犧牲を拂ふは國家の致命傷なりとし、らしば聯合國の對露新政策は露國の健全なる分子を救護し徐ろに內部の開發を期せんとするに各國政府協定を經たる如し（巴里電報）

# ◇過激絕滅計畫　聯合國　今冬黑海方面より實行

聯合國及び米國は露國の過激派主義絕滅の爲め迅速なる計畫中なり尚ウイルソン氏及び聯合國元首は露國秩序狀態を永く繼續するに於ては眞の世界平和の確立不可能なるを以て此際之れが秩序恢復に努力すべく右の行動は今冬黑海方面より實現せらるゝならんと觀測さる（紐育電報）

# ◇總統に國書捧呈

小幡公使は廿七日徐總統に謁見し國書を捧呈せり（北京特電）

# ◇軍用品を隱匿す　在八市瑞典人の家宅搜索

[illegible]の戰鬪中獨逸將校等に出入せし其際作戰指導に使用したるが如き八萬四千分の一の地圖等を發見されたり尚右に關しては更に調査中なりと（東京特電）

# ◇南方使節の資格

國務院は巴里にある支那講和特使に對し王正廷氏（南方より亞米利加に派遣したる者）を支那講和代表の一人に加ふる事に總統より命令ありたる旨打電せり（北京特電）

# ◇張渡日說眞僞

張東三省巡閱使は明年三四月頃中華民國を代表し渡日す可しとの說盛んに喧傳されたるも民國現時の狀態より推察するに徐總統は北方武斷派の中堅且つ段派の智者たる氏の渡日を許さざるは對外對內政策上當然の事たる可し然れ共張氏の渡日希望は今更事新しきに非ず昨年ら既に計畫されたるも遂に果さず今日に迨びたるものなるが偶々新小幡公使赴任の途次奉天にて兩氏會談の折柄一片座談的に渡日を勸めたるに對し該希望を開陳したるに因りて流布されたるものにして未だ決定されたるものには非ざるものなりと（奉天特電）

# ◇敵艇本邦廻航決定

海軍省公表＝曩に吾が聯合軍に引渡されたる敵潛水艇の中若干を聯合與國に回航し戰捷示威を爲す事となり左記七隻の獨逸潛水艇を本邦に回航するに決せり右回航委員乘艦『關東』は十二月廿六日橫須賀を發し地中海に向へり（海軍省電報）

ユー一二二號（千四百五十噸）一隻▲ユー一四十六號及五十五號（七百五十噸）二隻▲ユー、ビー百廿五號及び百四十三號（四百二噸）二隻▲ユー、シー九十號及び九十九號（七百噸）二隻

# ◇鐵道輸送と滯貨　朝鮮內地間の輸送と船舶運賃引下げ方法の考慮

從來船腹不足其他の事情に因り朝鮮內地間の輸送は海運よりも鐵道に依るを便とした事情あり爲に鐵道の滯貨を激しからしめ殊に年末決濟期に際し各般の影響甚大なるものあるが鐵道當局は目下此對策として速かに船舶の運賃を低下す可き方法に就き考慮しつゝあり殊に朝鮮米の移入に關しては內地米價問題の解決を促進する爲め最近に於て具體的の手段を執る可しと（東京特電）

# ◇御料地處分規定制定

今回帝室御料地中不用の箇所處分に關する規定を制定し御裁可を仰ぎ皇室令第十八號を以て二十八日附官報にて公布さる可し（東京電）

# ◇臨時關稅條約改正委員會　近く官制發布

歐洲戰亂の結果各國孰れも關稅政策の根本的變革を斷行し戰後經濟戰の優者たらんとするの趨勢となり、佛、伊其の他諸國多くは現行關稅條約を廢棄し我國亦條約改正の事已むを得ざる狀態に迫れるより我政府にても關係各省協議の上臨時條約改正委員會なるものを組織し諸般の對外經濟問題及び戰後來るべき條約改正問題に關し必要なる事項を審議する事とし委員は外相を會長とし關係各廳より高等官三名を選び委員として任命官制發布を見るべし（東京特電）

# ◇モリソン博士通過

支那政府政治顧問モリソン博士は二十八日午前六時半安東通過內地に向ひたり（安東特電）

# ◎鮮銀券の趨勢　一億一千萬圓臺を突破す

朝鮮銀行券の發行高は歲末決濟資金の需要と滿洲に於ける穀類の出廻の增加等のため盛んに發行され日に增進率を示し十二月二十七日現在は一億一千○五十萬圓の最高記錄を作れり二十三日以來の發行を逐記すれば左の如し

| 日次 | 發行高 |
|---|---|
| 二十三日 | 一〇六、一五六、〇四四圓 |
| 二十四日 | 一〇七、三七八、八七六 |
| 二十五日 | 一〇八、八八〇、三六四 |
| 二十六日 | 一一〇、三〇四、九八八 |
| 二十七日 | 一一〇、五〇五、二二三 |

尙ほ月末までに兩三日を剩すを以てその間通貨膨脹の狀勢如何あるべきかと云ふに昨年は十二月二十六日を以て六千七百萬圓の最高記錄を作れるに付先づ廿七日の一億二千萬圓を天井と見て大過なかるべし然も鮮銀券の膨脹は或は西伯利に進出し北滿に瀰漫し靑島濟南に及び間島吉林鄭家屯と各方面に延びたると鮮滿財界の膨脹物價騰貴に基因する運用資金の激增昨年末に於ける滿洲正金券の廢止は逐年の歲末發行高に異常の激進率を來さしめ居れり明治四十二年以降の十二月に於る發行最高記錄は左の表を示せり

| 年次 | 年末最高發行高 |
|---|---|
| 四十二年末 | 一三、四三九、七〇〇圓 |
| 四十三年末 | 二〇、一六三、九〇〇 |
| 四十四年末 | 二五、〇〇六、五四〇 |
| 大正元年末 | 二五、五五〇、四〇〇 |
| 同二年末 | 二五、六九三、二六〇 |
| 同三年末 | 二一、八五〇、三七〇 |
| 同四年末 | 三四、三八七、五二〇 |
| 同五年末 | 四六、六二七、〇八〇 |
| 同六年末 | 六七、三六四、九四九 |
| 同七年末 | 一一〇、五〇五、二二三 |

# ◎支那外交調査　講和會議準備

支那政府は我外交調査會に倣ひ外交委員會設立の計畫を立てたるが同會は此程愈々舊國務院內に設置され汪大燮を委員長に、周自齊、孫寶琦、林長民、曹汝霖、王寵惠、周樹模、陸宗輿、靳雲鵬、高而謙、陳籙、張志潭氏等を委員とし本月十九日以來主としてヴエルサイユ講和會議に於ける支那側提出の條件に關し討議を開始せるが大總統徐世昌氏は同會に出席し今回のヴエルサイユ講和會議は實に歐洲戰爭の結末をつくるのみならず全世界に亘り諸般の國際問題を決せんとするものなるを以て支那政府に於ても講和諸問題に就き充分なる研究を要す諸君は愼重に是等諸問題に就き研究すべしと云々と意見を開陳せり尚は講和使節問題は未だ同會に討議せられざるも徐大總統は南北和議成立後は先づ歐洲へ派遣せる陸徵祥氏の外別に南方派より講和使節を選定し歐洲へ向け增派の意嚮なりと云へば近く講和使節問題が外交委員會に上程さるゝに於ては同會は右徐大總統の意見を容認し講和委員の銓議を行ふ事と推せらる但し現に廣東軍政府政務總裁岑春煊、伍廷芳、林葆懌の諸氏は南方派を代表すべき講和使節として伍廷芳氏の如き外交家を推薦しつゝあるを以て結局支那政府代表としてヴエルサイユ會議に列席すべき講和使節は陸徵祥氏を正使とし南方派を代表するものは單に委員或は隨員の資格にて列席する事となるべしと

# ◎東部獨軍撤退

十二月下旬に於る東方戰場獨軍撤退情況の概要左の如し

一、獨軍は十二月二十日に二十一、二三日頃ウエゼンブルグ、ヴエルロ、ドヴキンスク、ミンスク、スルックの線を撤退せり

二、ウクライナ北部地方に在りし獨十軍は其大部既に本國に到着せるも一部はブタペスト東方スオルノック地方にあり

三、巴爾幹軍たりしショルツ大將の指揮する軍隊（二師團半）は目下其主力を以て匈國內アラド、クラウゼンブルク、クロンスタット附近にあり

四、ウクライナ東北部及南部（ハリコフ、タウリヤ、オデッサ方面）に在りし軍隊は一部は已にリツタウエンに到着し尚續々還送中なり

五、土耳其に在りし獨軍諸機關は今日迄に十九列車にて其殘部は君府に在りて協商側に對し本國の許可を交涉中なり

六、芬蘭に在りし軍隊は海路經由アオシデル、ゴルツ指揮下の軍隊は十二月十五日同地を撤退せり

七、羅馬尼に在りしマツケンゼン軍約十五萬は同國に引渡し新政府に對し至强なる交涉を重ねて石炭の至急廻送を待ちつゝあり佛國側の抗議に依り全部抑留せらるゝことゝなりウクライナ土耳其方面の軍隊が何れも同樣の運命に陷るの恐れあり

八、運命に陷るの恐れありし高架索方面につゝある軍隊は退路を匈國に却して避けんことを恐れつゝある軍（フオン、クレツセンハンの指揮する（約一師團）は十二月上旬同地を過ぎ去せるものの如く協商軍は十二月六日の頃バクー、バツームに進入せり（其筋着電）

# ◇對我出征軍隊感謝文決議

貴族院は二十八日出征軍隊に對し送呈すべき感謝文を決議せり（東京特電）

## 對西伯利出征軍

我帝國ノ西伯利出征軍ハ聯合諸國ト協力シテ事ニ從ヒ朔北曠遠ノ野ニ逐次勇敢奮鬪敵兵ヲ擊破シ到ル處掃蕩ノ功ヲ奏シ今尚ホ風雪ノ裡ニ艱苦行動シ克ク其任務ヲ竭セリ貴族院ハ忠勇ナル我出征將卒ノ功勞ニ對シ感謝ノ誠意ヲ表ス

## 對遣外艦隊

我帝國遣外艦隊ハ聯合諸國ト協力シ海洋ノ各方面ニ分派行動シ恆ニ艱苦ニ耐ヘ勇敢過敏終始其任務ヲ全フシ功績大イニ顯ハル貴族院ハ忠勇ナル我出征將卒ノ功勞ニ對シ感謝ノ誠意ヲ表ス

# ◎電燈値上持越

京城電氣會社より遞信局に提出した京城電燈料の一割値上案は京城電氣會社當局にて撤回をなさゞる事となり樣樣にて明春に持越すに至る居れるが當局の意向は既報の如く不許可にあり結局その指令は一月に入りて發せらるべし

# ◎鈴木外米輸入

朝鮮に二萬九千袋　神戶鈴木商店京城支店にては前內閣時代管理令の適用を受けし外米二萬九千袋（一袋は百六十六斤六斗六升）を既報の如く朝鮮に輸入する事となりしが左の如く各地に分配すべし

釜山二萬袋▲京城二千五百袋▲元山一千袋▲群山二千袋▲木浦一千五百袋

京城入荷の分は二十五日下の關を出帆せしに付今明日仁川揚陸の事となり各地共漸次入荷を見るべきが一石二十一圓內外の安値に付買受申込少からず既に豫約にて賣切れとなれる由

# ◎蘭米解禁絕望

二十四日某所入電に依れば英國政府は蘭貢米の國外輸出は爾後英本國[illegible]の[illegible]漸く顯著となりて各種の事情ならんかと觀測さる而して我國に於ては政府の管理令廢止後民間當業者が其[illegible]價に及ぼす影響は少からざるべく且佛國政府に於ても[illegible]及び東京米の輸出許可を廢止せ[illegible]傳へられつゝあり右[illegible]と（東京）

# ◎羊毛保護獎勵

[illegible]際協會の努力を要さゞる可からず[illegible]毛を待ち許制とせるも販賣を有利とせる見地よりトップの輸入には何等の拘束を加へざりため我國の利便少からざりしが而し[illegible]製品としての[illegible]の如き一二同業者を設立せざるも[illegible]あるも關西に於ては頗る旺盛となり既に自給の域に達せるのみならず目下滿洲品に比し四片方低廉[illegible]に此の問題に關聯して當業者の間トップ業發展を保護獎勵すべし因に羊毛商務省にて民間の[illegible]

# ◎看守女監取締給與品規則改正

朝鮮總督府看守並に女監取締給與品及び貸與品規則中改正の件は三十日官報を以て發布大正八年一月一日より施行のことゝなれるが右は看守及び女監取締の給與及び給與品中使用期限を延長し又大正七年度に於て新設したる看守教習生の被服を貸與品扱ひとし尚給與品の追加被服代料の支給期日及び其支給方法の改正を行ふ爲め現行の看守女監取締給與品及び貸與品規則に對し改正を加へたるものなり

# ◎露貨暴落

滿鐵京城管理局長來電に依る各線旅客及び手荷物の連絡運賃並に日滿連絡貨物に適用すべき露貨運賃の換算率は來る一月一日以降露貨下落の結果百留に付二十一圓二十八錢に改正したり

# ◎赤十字拜賀式

日本赤十字社朝鮮本部にては一月一日午前九時半より十時半迄本部事務所に御眞影を奉安し社員の拜賀を受くる由拜賀者の服裝は男子はフロックコート又は紋付羽織袴女子は紋服婦人社員は相當禮裝をなすべしと

# ◎愛婦名刺交換會

愛國婦人會朝鮮本部にては恒例に依り一月七日正午より京城ホテルにて會員有志の名刺交換會を開催し新年の賀辭を交換するに付會費一圓にて希望者は同事務所に申込むべしと因に當日は數番の餘興ある由

# 大阪財界便り

▲銅製煉制限說　內地銅價は最近米市況惡化の影響を受けて亦復軟調模樣を呈せしが[illegible]よれば倫敦銅價は現物最高八十磅丁度と前電の公定相場百二十五磅に至つて而して二十三日入電に當地相場も五十五圓五十錢と六十八磅を當地相場に換算すれば百斤三十八圓四十錢に相當するを以て內地相場は先行更に一段の崩落を免れぬであらうとの爲市價維持の爲製練業者は銅の生產を制限する必要を感じ目下寄々協議中なり▲電氣界先高見越　內地に於ける電氣機械の需要は頗る旺盛なるが最近某所入電によれば英國及米國に於ける電氣機械市價の騰落すべしとの見込みに目先注文を差控へ居るが米國は明年六月以降に非ざれば輸出を解禁せず米國は輸出の制限を解けるも鐵道の輸送力不足の爲急速に積み出す事不可能なるも豫定期間より二箇月早く積み出さるべし然れど今後諸外國よりの注文殺到すべきを以て例令各製造工場共人手餘りあるも生產費は低落せず却つて市價昂騰の見込である▲大阪電燈總會　大阪電燈會社にては廿一月既記の如く定時總會を開き利益金分配案（年一割二分）を[illegible]

改變更、前重役悉皆辭任[illegible]役員選擧の件を附議せるが議論沸騰一時非常の混亂を呈せるが結局重役一任にて問題の役員選擧を終了した新役員の氏名は即ち左の通りである

▲取締役島德藏、寺田甚與茂（以上重任）宮崎敬介、坂仲輔（以上新任）▲監査役河盛勘次郎、瀨川伊之助（以上新任）

而して社長問題紛擾の爭點は重役及び大株主は專斷にも株主に諮らずして片岡直輝氏に社長の推薦方を無條件にて一任せしは横暴なりとなし有志株主は會社側の横暴を憤慨し田所氏は不適任なりと決議して社長には前社長永田氏を擁立せんとする意嚮なりしが結局幹旋委員と重役との協議の結果、田所氏の手腕は未知數なるを以て寺田鳥取締役が極力輔佐する事、今後は株主の意志を尊重する事を條件として會社側の要求を容れたるものである大電には增資の懸案其外に種々難問題横たはれる際とて温厚なる田所新社長の前途を危む者少からず（大阪）

## 人事消息

▲波多野承五郎氏（三井重役）廿八日夜入城大餘樓へ▲原邊三郎氏▲關東方氏同夕入城

## 鳥瞰錄

歷史以前から其の破壞された國家を再建しようと永い間の受難難夫が漸く酬いられて猶太政府の建設▲今々の猶太人が家財を賣り飛ばしてパレスタインに急いで居ると云ふのは全く同情に値する神の選民を以て自ら居りながら世界至る所に枕する所もなく今日迄の流離顚沛同情に堪へぬ話で感情論としてもパレスタイン政府は是非とも成立せしめねばなるまい▲況んや其の國家を持たぬが爲めに他の民族國家迄も呪咀すると云ふ已むを得ざる結果が今日各國に瀰漫して居る破壞主義を如何ばかり助長して居るかを思へば各民族自衞の意味から言つても猶太國建設の必要はある▲米國の或學者は婦人勞働は即ち解放だと言うて居る▲一體閑暇といふものは一種の財寶で人間は金を溜るのと同樣に閑暇を溜て誇りとする性がある▲そして此閑暇を溜る爲の犧牲に供せられたものが世の中の女ださうだ▲何も爲せずに閑暇を消して居る從來の婦人なるものは實は夫たり父たる者の爲に捉はれて其の世間體の誇りの犧牲者だ▲で婦人を須からく此閑暇より開放して勞働者たらしめよ家庭外の社會の人たらしめよといふ▲工女通ひの女工となるものは正に開放されたる新しき婦人の急進國で深窓の姬御前なとは眞に不幸極まる捉はれの身で憐むべしだ▲總理大臣の年俸一萬二千圓を昔の石高に換算すると一升五十錢としてたつた二百五十五石だ▲平大臣に至つては百六十石、大將が百五十五石、勅任官の驥尾なぞも百石を出るか出ないかだ▲百石二百石位は昔は小藩の番頭か馬廻りかだと或好事家は語つた


お正月の御用意になくてならぬ足袋は？　日本で一番よく賣れる　名實共に日本一の　福助足袋

古幹　梅　福壽草　松　竹　寒咲花木盆栽　賣出し　京城大和町警務總監部四ツ角　大館骨董店園藝部　電話一三五五番

朝鮮學術研究會編　發行所京城本町振替三三三　ウツボヤ書店　朝鮮　中學校　商業學校　高等女學校　高等普通學校　入學試驗問題答案集　大正七年度　四六版二百餘頁　▲定價金五十錢　送料四錢　入學の榮を得たき學生諸氏は至急本書を座右に備へられよ　發賣元　京城太平通　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部　取次販賣所　大阪屋▲岩松堂

便利瓦　ルーフ井ング　天然スレート及學用石盤　アスベスト原料加工品　諸機械　大阪市西區江戶堀南通一丁目　鈴木合名會社出張所　電話土佐堀二六一番　本店　東京市京橋區川間堀三丁目

小島捕用　カスミ網　極上絹糸製◎其他雁鴨兎網無雙網等種々あり　高さ六尺　横巾三間　三尺五分　一圓半　高さ六尺　横巾五間　三尺　四圓　京城永樂町二丁目　吉備商會　電話三一四番　振替京城四三八番

醫化學諸器械一式　仁川本町　北島藥店　京城本町永樂町角　北島藥店京城支店　電話三二四・振替京城六七番　電話七六一番

Ⓚ　藥種賣藥卸商

資本金　貳千貳百七拾萬圓　積立金　壹千參百參拾萬圓　總預金　貳億七千萬圓　株式會社第一銀行京城支店　京城本町二丁目　振替貯金京城一一〇六一番　電話三三一七番　頭取　佐々木勇之助　支配人　竹村利三郎

京日案內　普通一回前金（七拾錢）　特別一回前金（倍額）　▲申込後掲載中止の節は料金不返戾　六回以上の御申込は特に割引のこと

●融通　月收の御方へ極秘迅速立替其他諸貸入讓受御報伺上候　京城大和町三ノ三　起木屋

◎社員採用　內勤監督　希望者は來談又は履歷書送れ　京城黃金町三ノ二九一　太陽生命保險會社京城支部

ストーブ　煙突　大見切　京城北米倉町電話長一五四六番　金物商　有好傳吉

◎御袴仕立專門　宿好能く迅速可奉に調進可仕候　京城本町四ノ一五　山崎商店

◎至急乳兒預け度し又は保姆に雇入てもよし（本年九月生男子）希望の方は至急御來談を乞ふ　京城太平町二丁目更科東　遠藤

◎簿記係一名入用　希望者は自筆履歷書携帶乞來談　南大門外　電話三二六番　齋藤商店

◎金細工職人募集　京城黃金町二丁目電話一〇一五番　喜多金光堂金工部

文部省　高等御料理　大勉强　京城長橋通北詰　電話二八二一番　新世界

倉庫貸　三間に八間の煉瓦建所は黃金町一丁目交通の便宜し御希望の方は左記へ御照會を乞ふ　黃金町二丁目　三三二　日華生命支部

長女政子儀豫て病氣の處養生不相叶今廿八日午前九時逝去致候に付此段辱知諸賢に謹告仕候　追て葬儀は廿九日午後四時若草町曹洞宗別院に於て相營み申候　十二月廿八日　父　島田房太郎　親戚總代　江頭菊太郎　岡龜吉　友人總代　木本倉二　村尾一靜　藤村忠助

▲正誤　昨夕刊揭載の右死亡廣告中大和町曹溪寺に於て葬式相營みとあるは若草町曹洞宗別院に於て葬式相營み候の誤り

……兵の電報(新品)三百其他戰多の被服あり又果物の罐詰を開きしに中より暗號にて記せる通信文及び彈多り軍其地圖の材料となる物件の原板を密造せられたるものあり沿海州方面

# 初日の出は大い

## 來年は稀有の日蝕があるが＝日本では觀測されない

### 彗星が四つ出現する＝明年の天體の話

元旦の日の出はいつもより大きい樣に見ゆると昔から云はれて居るが夫は學理上からも認めることが出來る理由があると河合技師は語る『一箇年中太陽と地球とが最も

◇接近する　のは一月で最も遠ざかるのは七月の月である明春雨天體が接近の極點に達し而して太陽が一番大きく見えるのは一月の三日で恰度十七間三尺離れた場所に於て一尺の球を見るのと等しい大きさに見ゆる隨つて元旦の初日の出も可成大きなもので午前六時五十一分に眞東から二十八度南の方に寄つた空から現はれる、內地で

◇初日の出　を拜むには北海道などよりも下總の銚子が最も好い場所である』夫から同技師は更に明年度に於ける天體の出來事に就いて語る『五月二十八日から二十九日にかけて西經七十五度九分南緯十九度五分、東經四十二度二十七分、南緯十二度二十五分、中央(西經十七度二十七分、北緯四度十八分)の間に於て

◇皆蝕食が　行はる約六分間の皆蝕で眺め得る地方は南亞米利加、阿弗利加の全部と大西洋中央南部に於て日本では絕對に觀測することが出來ない併し近年稀有の日蝕である、また月蝕は十一月十七日午前八時四十四分からかけ始めるのであるからこれも日本では觀測することが出來ないが亞細亞の西部から歐羅巴に掛けて見ることが出來る僅か一分八厘の蝕けである、それから

◇金環食は　十二月廿二日で西經百二度三十一分、北緯三十度四十一分に始まり西經五十度二十四分、北緯七度十八分、東經四度十一分、北緯十九度十分の間に行はれ南亞米利加の北部合衆國の全部加奈陀の一部大西洋の中部で觀測することが出來る、金星(宵の明星)は今から追々太陽から離れて七月四日に北極點に達し四十五度廿八分の位置に至り更に

◇太陽面に　近づき九月十三日に太陽と重なつて夜明の明星となるそして十一月廿三日再び太陽面より四十六度四十四分離れる一番光の強い時は八月七日と十月十九日まで此の日は天氣さへ晴れたら肉眼で望むことが出來る彗星は明年デンデル、スイフト、ホルム、コツプ、フエンレーの四種が見ゆる、デンデル彗星は七月中旬に出現するその周期五箇年、ホルム星の出現は十二月で約六年十箇月の周期

◇コツプ星　は千九百六年コツプ氏に依つて發見されたもので太陽に接近するのは八月で發見されてから二回目であるフエンレーは千八百八十六年に發見されたもので十月中旬太陽に接近し七箇年の周期であるが何れも肉眼では見ることが出來ぬ』

## 李王殿下　新年御受賀

李王殿下には恒例の通り一月二日午後二時昌德宮仁政殿に於て宗親府宮司、各官高島第十九師團長以下在城文武勅任官以上及び朝鮮貴族の新年祝賀を御受け相成る可し因に長谷川總督は服喪中の爲め山縣政務總監は旅行不在の爲め何れも參殿祝賀の言上を見合す可し

## 噫好判官　逝去せる境判事の事共　原判事語る

二十七日朝逝去せる總督府判事境誠之進氏(總督令弟)と親交ありし高等法院原判事は愁然として語る『境さんが亡くなりましたか實に惜しい事をしましたね境さんとは知交と云ふ迄ではなかつたが可成交際は深くして居ました氏は非常に

◆嚴格　でそうして總てが綿密であつた判事として實に好判事であつた又氏は剛毅は武士的精神の一つであると云ふ見地から圍碁を非常に好んで居られた故に自然強くもあつたが一度碁客が門を叩けば夜の眈るのも決して知らなかつた位である私も二三回手合せをした事があるが氏の

◆碁は　淸らかで武士的で堂々と攻め立てるなど一寸眞似の出來ない所があつた』

□ものづくり（廿八日市內所見）

## 工事は　暖い割合に進んで居ない

土木界の今日此頃十二月から翌年三月までは俗に謂ふ結氷期、例年ならば十二月に入ると直に土木業界は休止するのだが今年は珍らしく陽氣が續くので總ての工事が豫定以上に進捗して居るだらう、とは誰しも氣の付くところであるが斯の道の

▽專門家に　ついて聞くと實際は夫程でもない相な、朝鮮土木建築協會の井上主事は語つて曰く『成る程陽氣が續くので仕事は去年よりも長く出來るが、肝腎の勞力が大拂底と來て居るので勞働日數の割合には仕事は捗つて居ない、一圓增設に作のふ

▽兵營工事　などは恐らく激しい勢ひで進捗し既に十數日前に本年中の豫定を終了したと傳へられて居るが是などは例外である、と云ふのは兵營は何れも正式の契約を取結ぶ前から工事に取り懸つて居ること及び其多くは勞力の比較的潤澤な

▽北鮮地方　であると云ふ特殊の事情があるからで、其他の工事で進捗して居るのは皆損工事と思へば間違ひはない何故損工事が進捗するかと云へば是等は出來るだけ早く片付けて、他に儲かる工事押合せのつく工事に着手する必要があるからだ勞力の不足の一番の打撃は何と云つても

▽鐵道工事　であらう、土方人足は拂底の上にも拂底で纔かに駆り集めても豫定の十分一も集まらぬ、と云つて鐵道工事は一種特別のものであるから他の勞働者では間に合はず實に踏んだり蹴つたりである、將來朝鮮の鐵道工事は益々多くなり來年度の

▽豫算面に　現はれて居るものだけでも大したものであるが今日の如く不足して居て果して既定計畫を遂行し得るか何うかは實際眞面目に研究すべき問題であらうと思ふ』

## 著物を飾へるのは……　今少し待て＝二割位下る

### ＝呉服物は夏物から下る＝

呉服物は高い今に下るだらうから其時にしようなどいふ聲はまるで聞かないわけで無いが而も平和後の商況は幾分氣弱みを見せ價格に於ても五分安位を示して居るが然し生産も依然たり、商行も依然たりで少しも品物は停滯して居らないやうである、但し此狀態が何時迄も續けるであらうとは信じられぬ、先づ來年の夏物から影響し出して冬物、追つて漸く強い影響を與へると思ふが其影響の程度は

▲第一年の　歲晚は殆んど戰時の好景氣中と同じ位の賣行きを見せて居るのは偉いものである冬物は今後果して一般の豫期する如く下落するであらうか、右に就て東京府技師にして前八王子織物校長たる早崎氏は曰く『東京府の織物は八王子、北多摩で年額二千八百萬圓、青梅で四百萬圓合計三千二百萬圓から産出するのであるが今回の

▲平和來に　對しては目下

▲生產減も　價格は凡そ三割位と見込んである、兎に角昨今心ある家庭に著物を飾へるのは少し延ばさうといふ聲のあるのは極めて妥當穩健な見方、必ず今少し値段の安くなる時機の來る事は間違ひあるまいと信ずる、一部の生產者中に今後成金國の米國民が戰時中利得したる莫大の金を盛んに撒布するであらうから生絲等の奢澤品が大いに

▲輸出を增　し隨つて內地に於てはそれ等の價格は益々強含みを見せ決して今日以下に價格は下るまいと觀測する者もあるが米國人の如き文明國人は金があるからと云つて盛んに使ふやうな事無く其金を基礎として何か大事業を起すとか或は其金を生活の安定方面に使用するとか必ず生產的に使用し決して

▲我國一部　の小成金者流の如く裝身具などの不生產的方面に濫費する事は無いと信ずる故に米國に對する輸出は一部の期待するが如く俄然增大はしないと觀測して居る隨つて生絲類の好景氣維持は不可能であらうから內地に於ては必ず値段が下ると見るのが適當である、上方方面に於ける昨今の景物の不景氣といふものは

▲東京人の　想像だも及ばぬ位であるがこれは自然淨はつ調子の景氣に乘つてゐた結果で此點に至ると東京方面は景氣の來るのもノロノロであるが不景氣の來るのもノロノロで現下歲晚の景氣を見ても未だ大して平和來の影響を受けてゐないのは事實である(東京)

## 年の暮に……　汽船が安い

### 講和の反動風で……

二十五萬圓が五萬圓　講和の反動風が猛烈に大阪尻無川邊の造船所を襲うた結果、船舶競賣の申立が押し迫つた大阪區裁判所の執行部を頻りに煩はすこと、なつた最近の取扱が十五六件に上つたのに見ても如何に造船界が

◆混亂狀態　に陷つたかが窺はれる、一例を擧ぐれば北區堂島濱通三丁目田中丸元三が築港に艤裝中なる木造汽船第一南洋丸(九百九十噸)を抵當に二十五萬圓を貸附けたが反動風を受けて金の融通が二進も三進も利かなくなり遂に船舶競賣の申立を提起し大阪海事協會に評價されたが纔かに僅に九萬圓、之れを

◆更に競賣　に附するとなると手の出し手がなく、結局札を開けて見ると五萬五千圓で、而もそれが債權者自身の手に落ちたといふ有樣、休戰條約締結前までは大抵評價額の二倍位に迄上つたものがこの變轉は何と言ふ甚だしさ裁判所でも驚いてゐる要するに何等根柢も基礎もない造船所である突拍子もない船の黃金時代にこそ

◆泡沫錢を　融通する海運成金もあつたであらうが見すく金を掛ける事が損と決まつてしまへば一齊に手を引き忽ち今までの貸附金請求と云ふ騷ぎに出る、造船業者の懷ろは勿論無一文と來てゐるので建造中の船舶競賣となる二十五萬圓の貸附金が五萬五千圓では百代の抵當に編笠一蓋の譬な文字通り船成金を夢みた神戶邊の

◆海運業者　が此の年の暮に泣くなるのも無理はなく、慌て未成の船を處分する爲に此年の暮を裁判所執行部が忙しい目を見てゐるのも講和來の歲晚情景の一つである(大阪)

## 初春の日記類

### ＝何れも氣が利いて居る文章日記＝

大正八年度の日記類百餘種は何れも實用本位や趣味中心又は此兩方面を兼ねたものや純專門的なものもあり何れも表裝に內容に隨分苦匠を凝らして居るが其中で最も特色のある日誌三四種類を紹介すれば先づ

▲文學的　方面では新潮社發行の文章日記が體裁內容共に頗る氣が利いた編輯を施されて居る、現代大家の文章を輯錄して適所に按排し卷尾には文壇諸家の住所錄及び年齡表が揭げてある、ポケット形の日記では鐵道時間表發行のダイヤリーも新しい特色がある表紙は更紗模樣で凝つた

▲色彩を　施し內容は雜記欄日記欄其他化學的の必要記事を以て埋めてある、婦人向の日記では婦人の友社發行家計日記と同社發行の主婦日記と同社發行の女史立案の家計簿が最も實用向きで最も面白く出來て居る

## 羊の肉の料理を研究

◇十五種の日本料理に　來年は未年だと云ふので農商務省の畜產課では正に今羊肉料理の研究を始めてゐる緬羊課の一員は語る『世界一と稱せられる濠洲では八千五百萬頭、亞爾然丁が八千三百萬頭、北米が五千二百萬頭、南阿聯邦が三千五百萬頭、支那が二千二百萬頭と云ふ數を示して居るのに

▲日本　は僅に三千六百頭といふ實に哀れな有樣で北海道瀧川の七百頭、友部種羊場の二百頭、熊本種羊場の百五十頭くらゐでは問題にならぬ今度の戰爭で毛織物工業界が大恐慌を來したのも一は此の產業の振はなかつた故に依るのである濠洲羊毛の輸出を禁止されて今後間誤つかないやうにするには如何しても羊を澤山に

▲飼育　せねばならぬ愈々緬羊の飼養を獎勵するとすれば如何にしても其の肉を味はうかを研究せねばならぬ來年開催の畜產工藝博覽會には是非此の羊肉試食の實演をやらうと云ふので其の研究方をお茶の水の女子高等師範學校へ依賴したのである』と羊肉を材料として十五種の日本料理を研究研究者田中博士等を招待して其の

▲試食　會を二十三日の午後開會した家事科の喜多可、佐宮子教授は次の如く語る『大江禮美子教授と一緒に研究して居りますが羊肉を日本料理に調和させると云ふことが第一なので洋食の材料には既に使はれてるのですから別に研究の餘地がありませんのです牛や豚の如に濃厚でなく極淡味のものでして人によつては變な臭みがあると申しますが決してソンな事はありませんが何に致せ數が少いので値が可なり高いのです』

▲百目　で九十錢もするものですから到底常食にはなりません特に一頭の市價が六貫目ですから餘程澤山に飼育しないと食用とする譯には參りません胡椒あへも拵へられますといつた風で何にでも應用されますが數が小い體なので一頭から佳い肉を澤山とる事は出來ません』(東京)

## 慌しい　年の市　あと三日！

年の瀨が愈々押し詰つて來たので市內は一層景氣附き歲暮品を買ふ者配る者七五三飾りや飾りものを買ふ者で非常に賑つて居る所は目も廻る程忙しい日の續く後三日であるが市內各商店では例年に習ひ三十一日の大晦日は終夜店を開けて賑はす由であるが京城電氣會社でも此日に限り市內線のみを午前二時迄運轉せしめ一般乘客の爲め便宜を計るそうである

## 安東の大火

二十七日午後七時安東縣市街興隆街第二百三十四號揚致奕方より出火し瞬く間に隣家二十戸半燒八戸に及び同八時半漸く鎭火せり損害は約六千圓の見込みなるが同所は貧民部落なり(安東特電)

## 遺族を弔慰す

出征軍人古森仁三郎氏西伯利野戰病院に於て死去したるに付き京城染物組合に於いては組合員の同情を得たるにより組合長堀清次郎氏は役員と共に二十七日其遺族を訪問し該弔慰金を贈與し弔慰の意を表したり

◎藝術座の京城興行　松井須磨子の一行は明年一月元旦より十二日まで京城座に於て(メリメ作川村花菱氏脚色『カルメン』四幕五場、中村吉藏氏作『肉店』二幕)を上演する事となり須磨子より通知ありたり

◎故島田政子嬢告別式廣告訂正　昨夕刊第三面廣告欄島田房太郎氏令嬢故政子葬儀廣告文中『大和町曹溪寺』とあるは『若草町曹洞宗別院』の誤植に付訂正す

## 故鈴木校長吊慰及獎學資金寄贈者名

第二十二回

一金拾圓　京城古市町　松本豐作
一金五圓　同　小山庄三
一金拾五圓　鈴木商店　京城支店々員一同
一金四圓　同　店　某
一金拾圓　滿鐵京管局　久保要藏
一金參圓　若狹根當五
一金壹圓宛　伊東四郎、江口寬治、岡本文介
一金五拾錢宛　小林竹次郎、門田兒玉、陳昌、松倉猛
一金參拾錢　國安忠亮
一金貳十錢　林清一
一金壹圓　長田重三
一金壹圓　小林春樹
一金三拾錢　保母純一
一金壹圓　河合治三
一金五十錢　鹿島正三郎
一金五十錢　百瀬波雄
一金參拾錢宛　井上謙次、武智和三郎、中川久吉
一金貳拾錢宛　木村利見、重吉市郎、橋口正男、和智德雄、小島竹次郎、清水清、菅原久四郎、田中卿甫、津田久爲惠、稻川純一、岩間政吉、廣田伊佐雄、松島松雄、久保半右衛門、中野才次郎、山本正夫、本間彰、保野禎一、瀧野竜作、平田寛一、中村才吉、小菅保市、小川重作、中山健太郎、大澤謙導、山本傳一、山根次延、松永芳亮、宮崎浩、小畑哲、瀬社家松藏、川崎祐志、有馬滋、野村幸藏、岡村貞二、木一政、森美代治、武藤佐太郎、五十嵐新作、宮澤宏平、飯田耕助、藤井雄一、守谷昇、石野田實、吉岡正路、吉井虎雄、加藤秀三、村上秀丸、福島龍太郎、小林信治、庭木定、山口慶吉、黑岩政吉、土屋英一、伊藤幸能、宮木重郎
一金十錢宛　藤原毅明、佐藤三次郎、小川信愛、長谷川武
一金壹圓　松村重治
一金五拾錢宛　副島廣三郎、碓井熊太郎、細野淺次郎
一金參十錢宛　吉田運吉、齋藤淺吉
一金四十錢　赤星芳次郎
一金參拾錢宛　戶田岸吉一、古里新太、小原勝吉、正代唯喜、佐藤清
一金五拾錢宛　村上萬太郎、高木彌一郎、絲田岡四郎、阪元繁彦、平田嘉之助
一金參十錢　天野猿次郎
一金五十錢　早坂慶吉
一金參十錢　松下仲均
一金五十錢　原田政介
一金同　荻久保三郎
一金十錢　大竹八郎
一金參拾錢宛　藤片七三郎、細江平太郎、古川親明、高橋善三郎
一金五十錢　小林鋭太郎
一金參十錢宛　花岡善次郎、加藤八百吉、若林平吉、下田彥太郎、齋藤照造、佐川英作
一金五拾錢　德山虎吉
一金五十錢　趙場宗四郎
一金五十錢　稻木龍雄
一金參十錢　松尾初太郎
一金同　原橘樹
一金同　立石善三郎
一金五拾錢　藤林長作
一金五拾錢　小野竹四郎
一金參拾錢　田淵彌太郎
一金同　前山奥一
一金同　伊藤市藏
一金五十錢　森永重太郎
一金參十錢　中谷龜次郎
一金五十錢　古賀虎三川
一金同　川崎三代吉
一金參十錢　山本源次郎
一金同　吉川賀信
一金同　市原次作
一金同　松尾清市
一金參圓　林田良治
一金參圓　山田龜治
一金參圓　中野三深
一金貳圓　丸山忠作
一金壹圓　堀內智三郎
一金壹圓　永島呂雄
一金壹圓　近藤銑太郎
一金壹圓宛　深川勝一、小野義雄、宇津忠萬、川庄吉、山田榮次郎、清水庄吉
一金六十錢　廣藤貞一郎
一金同　戶田鉢三郎
一金同　森篤治郎
一金五十錢　齋藤枝爲
一金同　田中卓
（以下次號）

## 演藝案內


有樂館　早川演藝部直營　活動寫眞常設館　電話二三〇五番　當る十二月廿六日より提供　寫眞時事新報五十號全一卷　米國ユ社エルコー映畫　喜劇『我が子は何處へ』二卷　實寫　印度の風物一卷　米國ユ社ブリツバード特作品　人情劇『恐怖の一時間』二千呎　情緒劇『知らぬ妻』全六卷　家庭悲劇『父の涙』三卷

壽館　本町二丁目　電話一〇五〇　當ル一月元旦ヨリ　東部ニ於テ新時代浪曲ノ泰斗ト評セラレタル　京山愛三大一座開演

黃金館　電話(晝間)二二六六(夜間)二二六七　當る十二月二十五日より　大活會社最近の作(天下一品)『阿漕が浦平次』　新派悲劇『大秘密』第十八篇　新派悲劇『漂ふ舟』全十五場

文樂座　本町五丁目　電話三三八

大正館　櫻井町　電話八七二　人情劇『闇の焔』全五卷　新派悲劇『雪と炭』全五卷

浪花館　京城明治町　電話二六〇　一月元旦正午より開演　三遊亭馬生一座

贊化病院　京城明治町一丁目　電話二四一番　內科　小兒科　入院隨意　施療す　每日五名を限り　醫學博士　古城憲治　金澤醫學士　打田義芳

田村質店　黃金町長橋町入口　電話一九一六番　商品擔保便利取扱

硝子工場　京城古市町　電話一七四六　畑兄弟　工場特製人參エキス瓶……其他一般の御注文に可應候

元山名產かきしほから特價提供　元山名產かきしほからは御賞味以來多大なる好評を博せる元山名產かきしほから京城出張所開設一週年自祝の爲め年內に限り左記特價にて提供可仕候間御用命を乞ふ　滋養豐富年末年始の贈答好適品　定價參拾五錢　特價卅參錢　京城旭町一丁目　電話一八五一番　元山　横山兄弟商會京城出張所　特約店　京城南大門市場　池尻商店　京城三木一倉　鳥居販賣部　仁川宮町　矢上商店

觀賞植物　果樹苗木　卸小問屋　清風園

醇良無双清酒　衛生無害品質無双　發賣元　京城府黃金町二丁目　首藤京城支店　電話長一七一一番　釜山港幸町　首藤釜山支店　電話長三四四番

貿易商　雜貨　京城本町三丁目　藤富國太郎商店　電話三〇八番　振替京城一七八番

醬油之大王　キッコーウリー　日本醬油株式會社

銀鉛鑛　亞鉛鑛　鑛石買入　御賣鑛者に對し精々御便宜取計可申候多少に不拘御申越相成度候　京城黃金町二丁目石四十八番地　商品陳列館の下　電話一四六四番　信託業　明星商會

# 母と子 (六十六)

北島春石作 森田久畫

## いらだつ心（一）

自分の不在中に、叔父の森泉直樹が幸枝を連去つた後は、遊び相手を失した所在なさに篤は戸外へ飛出して騒ぐ事を覺え出した。附近とても相當な家柄のみと云ふ譯に行かず、駄菓子屋や荒物屋の倅もゐれば俥宿の腕白小僧もゐる。それらの餓鬼大將に感化されて、いつの間にかこんな憎まれ口を利くやうになつたのだらう。

純し、汚濁を知らぬ白絲も朱に交はれば赤くなる道理で、決して子供に罪がある譯ではない。自分は一定の勤めもあつて毎日外出勝ちだから、一々細かいことに氣を注けてゐる暇はないが、朝から晩まで傍へ引付けておきながら、斯うした教育をするこは母親が宜しくないこ、雅巳はお葉の不注意を不快に思はずにはゐられなかつた。

こは云へ、この場合、さうまで深くは考へてゐられず、我が子こても容赦しがたしこばかり、

『篤!』こ、雅巳は激しく一喝した『お父さんに向つて馬鹿こは何だ……さあ、もう一度言つて見ろ。』

篤は相變らず瞳を突反せて、

『錢をくれねいから馬鹿こ言つたんだい!お父さんの吝坊やあい。』

『うむ、今から親を馬鹿呼はりするか。』こ、いきなり猿臂を延べて篤の襟首を引寄せて『貴樣は……貴樣は車夫馬丁の子にも劣つた奴だ。さあ、もう一度言つて見ろ。』

最初は甘ッたれる意であつた篤も吃驚して、急いで逃出さうこしたが間に合はず、ずる〳〵こ襟先へ引寄せられるこ、俄に怖毛立つてわつこ泣出し、

『恐いよう、恐いよう、お母さん……。』こ救助を呼ぶ『お父さんの馬鹿がいけないから來ておくれよう。』

その泣聲を聞付けて、奥の間からお葉が飛出でた。

『まあ、貴郎は何うなすつたんですね。』こ無理に引放して『篤が何をしたか知りませんけど、それぢやあんまり折檻が過ぎるでせう。』

『いや、我子だから善かれこ折檻するのだ。』こ、雅巳はお葉を睨み据ゑた『これこ云ふのも、お前の注意が届かんからだ。』

『おや、今度はわたしへお鉢が廻つたんですか。』

『まつたくお前の不注意が原因をなしたのだ。』

『ぢや、篤がどんなお悪戯をいたしましたの。』

『何有、男の子だから戸外で喧嘩をして來たくらゐは、別に叱るべき程の事もないが、親を捉へて馬鹿呼ばはりするのを、篤の氣性では笑つて濟まされん。』

『あの篤が……。』こ、お葉には信じられないらしく『お前、お父さんに向つてそんな憎まれ口をおきゝかね。』

『だつて、だつて』こ、篤は歔欷しながら『あのめんこを買ふからつてのに錢をくんねえもの。』

『まあ、何て穢い言葉づかひをするんだね。欲しいものがあつたらなぜこれ〳〵を買つていたゞきたいこ、優しくお父さんにお願ひ申さないのさ。』

額ずく軒端に雨が洩るで、味方こ思つた母親にまで叱り飛ばされ、篤はわざこ大聲をあけて泣出した。

『ね、ほんとに強情な奴だ。自分が悪い癖に謝らずに居るこ、今日こそは[illegible]。』

雅巳は又むら〳〵こ癇癪を起した。

『いゝえ、まつたく篤が惡いのです。あの子に代つてわたしがお詫をしますから、今日のこころだけは御勘辨なすつて。』こ、お葉は急いで女中を呼んだ『お鳥や、篤を

彼方へ連れておいで……それから泥だらけだから、何か著替させてやつておくれ。』

『はい、はい。』こ、お鳥は氣輕に篤をなだめて『さあ、坊ちやん、手前こあちらへまゐりませう。』こ奥へ連れて行く。

お葉はそれを見送りながら、さも面當がましく大きな嘆息を吐いた。

『亂は一つでもお腹が違ふこ、何うしたつて、あの幸枝のやうに怜悧ちやありませんね。』

# ◎虚榮に —過ぎた—

## △婦人の服装を △改良の必要

近來婦人の著物が却々華美になつて來ました夫れも身分相應な服裝なら未だしも家の中が火の車でありながら所謂見榮を張りたい許りに一目見た丈けでは何處のお孃さんか奥樣かこ見紛ふ許りにケバ〳〵しく

◇著飾つて 得々然たる婦人を多く見受けますのは慨嘆に堪へぬことです最も婦人は身嗜みこ申して相當な服裝はせねばなりませんが夫れも唯小瀟張りして居れば能いので何も立派に著飾つたこて別段賞めたこではありません中には御亭主の奉給など其外除けで自分の物にのみ

◇焦慮して 何處の奥樣が大島の揃ひで帶も刺繡物を誂へたこ聞いて夫を尻以たがるなどは感心したことではありません又虚榮の強い娘さんこなるこ親の身扮りが劣つて居るので親こ一緒に歩くのを嫌ふこ云ふ不所存な女もあるなどは全く御話しになりません此る細君など亭主が

◇收入相當 な身扮、我が身の分を知らずに著飾つて連立つて歩くのを避けるなどする者があるさうです之れなどは身の程を知らぬ女で寧ろ自己の無恥を表明して居るものであります乃で今度高等女學校出身の同窓者間で羽仁もと子女史が主唱こなり婦人の服装を改良行くやうこ盛んに運動して居るさうですが其改良すべき要點は中流階級の者なら

◇銘仙を最 高程度こし成るべくは綿服を奬勵するのが主旨であつて羽織などは紺無地にして茶の羽二重絲でさがり縫ひにして其周圍を絲の縫ひの蜘蛛手に配らつたものこして忘年會合でも之れで押し通し又訪問なごは一切

◇綿服を用 ひせしめるのであつて之れが徹底的に普及を圖らん爲め先づ同會員が來春から之れが實行に及び全國の婦人に共鳴せんこするものであるこ

## 日紋歌壇

○冬の歌 (會二浦) 丸石

そゝり立つ煙突の頂ゆくろけむり雪氣の空にひた吸はれゆく

塗りかけしペンキの家のかたはらに大工おか〳〵火を燃いて居り

我がこゝろいさゝか笑まん時し來て額垂れにつゝ恥ぢ給ふ時

はりつめしうすら氷の上の石ころのおぼつかなくも身をさゝへあり

ぬけいでゝ外の面の風にさめ來れば獸のごこく食へい歌へり

あは雪は解けぬ流れぬ温情にみななにごこもけ去りぬべし

○冬日哀歌 よし哉

朝鮮の冬は冷たしどんよりこ大きく曇る灰色の空

どんよりこ大きく曇る冬の空その下にして働く囚徒

默々こ石を運べる囚徒等の足どり重き冬の空かな

坂のぼる囚人馬車に冬の空大きく墜り午砲ぞなれり

大いなる建築物の立ち並ぶ路の冬をば中歩みゆく

雪積みし列車入り來て構内に人は悲しく物を思へり

○病床吟

はろばるこ雪の夜道を踊り來しこの弟になかされにけり

吾がそばに母は疲れてかなしくも寢むり給ふのかあけちかくして

○歳暮偶感 大邱 百合

かすかなる大賣出しの樂隊に時じくの町ごよみ初めけり

かれ〳〵のわがうたごゑを愛でたまふ君在す故にわが世は嬉し

はかなしや我一筋の逃れみちそのうたさへもうきものこなる

○白鉛詩社詠草 晢 郎

雲間より薄陽がさせばギラギラこつもりし雪のまばゆくもあるか

雪を光る騒はいつか大空を流るゝ雲を見てゐたりけり

あつさ

光はるかす刈田にま白き雪をきて霜かしましく啼きゐたるかも

夕寒み斑雪を〻く高原に落ちゆくの陽かなしくは見つ

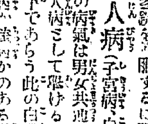
○私のくらしから せりな

○

ひとみが張りきつた

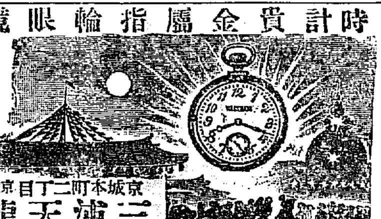
で眼球のくろいまん中
おれの顔だ一つしか無い
おれのかほ
おれが惚れる
接近してゐるな
男の顔が二つある
お前は近視眼だな
おれは
わからない
おれは
くろい眼球に浸りつめた
おれなのだ
またたかない
久遠のねむり
忽ち怒の一人の俺が現はれ
迫りては强くも斷つた
おれは一散にはしる
おまへは
眼鏡をかけたな。」

## 讀者の領分



△我輩が[illegible]電車の[illegible]上げ市街に對して會社の[illegible]點占的横暴を指摘し[illegible]城市民の[illegible]つて會社に反省を促さるゝのは[illegible]城市民が大なる感謝を表する次第なり（城市民會）△京城[illegible]斯る[illegible]は公共的事業にして市民一般の[illegible]べきに[illegible]市民の[illegible]すべき[illegible]公[illegible]相當[illegible]△[illegible]する所である此の際[illegible]なごは[illegible]して容るすべからずであるが歳末[illegible]に窮聴つた市民の多くが此の間題に[illegible]中する餘裕の無いことを[illegible]ながら[illegible]電車[illegible]である[illegible]て京城を一區にするか又は現在の[illegible]して[illegible]大門外[illegible]なごこ今少しケにする可きである（[illegible]）△此の年末で本町筋[illegible]で自轉車[illegible]


# 時計貴金屬指輪眼鏡商



地方の御注文は代金引換にて送る

京城本町二丁目 三浦天龍堂 電話一〇[illegible]番 振替京城[illegible]番


# (ミツワ文庫七ー一二) 十二月の衛生

## 胃病、冷性、感冒、痰咳

食傷こか胃病こか一口に謂ふ胃加答兒——酒、甘い物、菓類から起る胃酸過多——冷えて腹つかれぬ冷性即ち貧血——痰こ咳この出る氣管枝炎——婦人病——咽頭を痛めた感冒——肋膜が悪いこいふ内に肺結核——腹を害つて起る下痢

### 胃加答兒（食傷、胃病等）

の急性こ慢性こある食傷は非是に急性に相當し一口に胃病こ稱へるのは慢性胃加答兒に相當してゐる食傷をするこ食慾が減り胃部に張るやうな壓されるやうな重苦しいやうな感覺がして口渴が甚だしく食物を見たばかりでも惡心を催し屢々嘔吐を來たし噯氣が出たり口中が臭くて粘り、舌は苔を被り口の中が臭くて粘り便通は不正こなり尿は減つて赤褐色になり熱の出ることもある慢性の方では症状が差程急劇ではないが中々治らないので神經質になり又胃痛の起ることもある。

急性慢性孰れにしても食事の攝生を嚴しく守り胃を温め、ミツワ胃錠を服むに限る胃加答兒に最も効ある良藥である、それから消化が不良く食慾の減る場合には、ミツワ消化錠を用ふるに限る本藥は総ての食物を消化するもので何んな病症の時にも消化を助け、榮養を良くする理想的消化藥である。

### 胃酸過多（むねやけ）

酒を飲んだり甘い物を食たり、芋の類を食たりするこ、むねのやけることがある之を胃酸過多こ稱へるが、これは精神感動、美食、食物咀嚼の不十分、香料や煙草の濫用などからも起り消化食後一二時間を經て胃が壓されるやう又灼けるやうで時には劇しい疼痛を惹起し、それが背や肩の方までも放散する而して噯氣が出て大便が大抵は秘結するものである。

即ち澱粉の多い場合には、植物性食物よりも動物性食物を選び、酸い物、鹹い物、香料、酒、煙草、甘い物、珈琲等を避け藥劑こしてはミツワ制酸錠を服むに限る。本藥は胃酸を中和し噯氣を去り食慾を進める良藥である。

### 冷性

いくら著衣を著ても寒くてたまらず夜に床に入つても足や膝又は腰が冷えて寢つかれず湯たんぽや炬燵などを入れてもやはり温まらない斯樣なのを冷性こ稱へてゐるが其原因は貧血で随つて血液の循環が足らぬからである冷性の人は大抵顔色が蒼く、唇や眼瞼結膜の色も極めて淡紅色になり僅動いても心悸が亢ぶり呼吸苦しく頭痛や眩暈がして時々胃も痛み食慾は減り婦人には月經が不順こなる斯樣な人は心神を安靜にし感冒

### 婦人病（子宮病、白帶下）

大抵の病氣は男女共通であるが特に婦人病こして忌ひべきものは白帶下であらう此の白帶下は必ず子宮病から起るので、腰から臀部に灣くなり腰から腿の方へ牽き吊るやうに痛み又下腹が脹るやうこ痛むが宜しくなりつて之を打つて藥で疼みや頭痛や下腹が發達上に一の惱みが高まり脈絡に[illegible]な肩こり血の道に入りたり、ミツワ人參錠の外にミツワ婦人錠を用ひ、ミツワ鐵劑を服むに限る[illegible]

### 感冒（咽頭加答兒）

感冒其のものは輕い病氣であるが、これから種々の病氣を惹起すから之に罹はれたなら早速ミツワ解熱錠を服むこ限る、本藥は感冒の熱を下げ、頭痛があつて而も惡寒の無いものは即ちフェナセチンこミツワ化學研究所で研究製した化學的アセチルサリチール酸で、リウマチス、神經痛に効あり此の際の咳嗽が[illegible]、ミツワ含嗽錠を溶かして[illegible]

病むこ何か咽頭に加答兒を起し咽頭が疼んで何か啖かむこ其の疼痛が出たり咳嗽が出る此の場合に咽喉の周圍に塗布するに限る本藥は口中の病症を良效を奏するばかりでなく之で嗽する口中から入る病菌を防ぐことが出來る、それで感冒や傳染病のあるこきは之で屢々含嗽するとが大に必要なのである

### 氣管枝炎（痰咳）

は感冒から起ることが多く咳嗽こ痰こが盛んに出て胸が痛み聲が嗄れ喘氣を催し熱が出たりして進んでは肺炎こなることがあるから之に罹つたなら室を温めるやう蒸氣をたてゝ胸部に濕布をなしミツワ去痰錠を服むに限る而して熱があ

ればミツワ解熱錠を用ふるのは言ふまでもない斯く手當しても治らず症が慢性になつたならミツワ鎭咳錠を用ふるに限る本藥は痰の慢性に出る病症假へば慢性氣管枝炎、喘息、百日咳、肺結核等の咳を止めるに殊に偉効のある藥である。

### 肺結核（肺病）

肋膜が悪いこか肺尖が良くないこか云つてゐる内に咳嗽や痰が頻りに出て熱が出て時々血を嗜き漸次に衰弱し力が脱け立派な肺結核になるこ云ふ決して珍らしくないそれ故躊躇せずに相當の手當をせねばならぬ、それには日光新鮮な空氣を與へ滋養料即ちミツワ人參葡萄酒、複方肝油ドロップス、卓効ミツワ結核錠を用ふるに限る本藥は現今結核剤こして賞用され藥を主藥こし、それに補血劑を胃劑、強壯劑等を加へたもので實用の結核劑こしては理想的で之に優るものは無いのである。

### 下痢

下痢は飲み過ぎても又食過ぎても腹部に風を引いても神經病なごからでも起るものでズウ〳〵と腹部が鳴つて腹痛や水樣の軟かい大便を一日に數回から數十回も漏らし頭痛や嘔氣を催し重いものになるこ遂に脱水が甚しくなれば、慢性腸加答兒を發す[illegible]ることがある。

下痢を止めるには優良無刺戟のミツワ止瀉錠を使つて腹部を濕布し冷たい飲食物や一切消化し難い食物を避け、[illegible]、本能其の他消化易い食物を攝り、漢方公開のミツワ止瀉錠を服むに限る又下痢が永く續くこきはミツワ規那鐵葡萄酒を滋養料こして用ふるが良い。

ミツワ胃錠卅錠十錢、百錠廿五錢、百廿錠五十錢、三百五十錠、三百錠五十錢、ミツワ消化錠卅錠一圓卅錢、ミツワ制酸錠百五十錠廿錢、ミツワ人參錠百錠五十錢、五百錠二圓、複方肝油ドロップス百顆一圓八十錢、ミツワ規那鐵葡萄酒一壜一圓七十錢、ミツワ婦人藥八十錠五十錢、ミツワ婦人藥六筒五十錢、ミツワ卵黄錠百五十錠廿五錢、ミツワ解熱錠卅廿錢、ミツワ含嗽錠七十錢、三百錠一圓、ミツワ去痰錠百五十錠卅錢、ミツワ結核錠百錠四十錢、ミツワ鎭咳錠百錠一圓五十錢、ミツワ人參葡萄酒一壜二圓、ミツワ止瀉錠一圓八十錢、ミツワ止瀉錠廿錢、六十錠四十錢、内地四百五錠[illegible]外に[illegible]包裝費を加ふ。東京日本橋區[illegible]町丸見屋商店


## 家庭治療法 (四六版三百頁)

本書は日常罹り易き疾病の原因症狀等を平易に說き、家庭に於て施し得る治療法を丁寧親切に教へ、醫師にかゝるまでの手こなるものである。定價金五十錢。但し申込あれば一冊進呈す。東京日本橋區[illegible]町丸見屋商店（郵券代用〔六錢〕を添へ御申込。振替東京七一〇番）

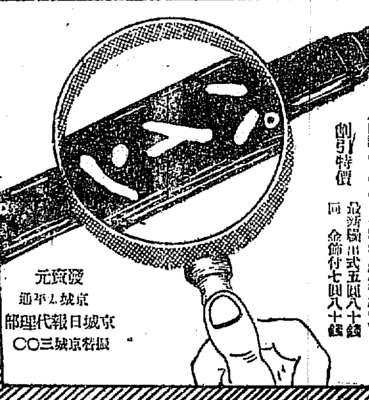
資本金六百萬圓
積立金 金百貳拾五萬圓

株式會社 十八銀行京城支店 京城府南大門通二丁目 電話四〇八・五八〇 振替貯金口座京城八一四番

同 新龍山支店 京城府漢江通り拾參番地 電話五五〇番

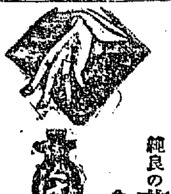
同 龍山出張所 京城府元町二丁目 電話一八番

銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申又京城支店及龍山出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候



年末、年始の贈物に
アナタの好意を
幾久しく記念する
パイン萬年筆を御撰び下さい
▲優美なる化粧箱入贈答用之儀▼
特價 最新型 式五圓八十錢
割引 同 金飾付七圓八十錢
發賣元 京城本町通 京城日報代理部 振替京城三〇〇

入院 內科 小兒科
院長 醫學士 小林千壽
副院長 東北醫學士 戸川武
永登浦分院長 醫師 久保廣次
小林醫院 京城旭町一丁目 (電話九六二番)



純良の藥品と賣藥が揃つて居ます
御値がお安いです
クラブ化粧品代理店ですから
京城本町二丁目角 古城贊化堂 電話一〇二番 振替七三七番

◎軍隊拂下大安賣
茶褐外套、毛布、冬茶褐小倉服、アイボーシャツ袴下、冬絨紗服、ジヤケツ、軍帽、靴下、雨合羽
右特別大安賣仕候間多少に不拘御用命願上候
龍山元町一丁目 川本衣服店 電話五五六、振替口座一五六九

◎女子供でも内職で一ケ月四五十圓位儲かる鶉飼ひ

三羽の鶉で三ケ月間に百圓位儲けた人もたくさん有る
家禽鶉は國産として前途有望
◇實用多産系一ケ年三百五十個以上產卵
◇若親……三十日雛……四十日雛
◇鳴き鶉……白色系鶉……大卵系鶉
◇種卵……食卵……チヤボ卵々
◇飼料其他飼養附屬品一切
右詳細三錢切手封入御申込次第送呈
何百里の遠地にても鶉及び種卵安著保證す
釜山府富平町一丁目 電話長八六九番 振替二九三二番 旭鶉園


# 大阪商船汽船出帆

（仁川出帆）
×神戸大阪行 安東丸 十二月 日 正午出
×木浦大阪行 信濃川丸 十二月 日 正午出
（元山出帆）
西湖津、新浦、城津、清津行 宮島丸 十二月卅一日後十二時
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 安平丸 十二月 日後九時出
（大連出帆）
上海、芝罘、打狗行 湖北丸 十二月 日前六時出
基隆行 基隆丸 一月二日後六時出
內地各港出帆主要航路
歐洲行 毎月一回 北米行 毎月一回
南米行 一年四回 孟買行 毎月一回
濠洲行 毎月一回 南洋行 毎月一回
御出張所 [illegible] 大阪商船株式會社仁川支店 京城府[illegible]

# 朝鮮郵船出帆

▲敦賀行（清津、城津、元山經由）平安丸 一月五日 清津發 一月七日 元山發
▲清津行（大阪發、門司、釜山、元山經由）平壤丸 十二月十九日 釜山發 一月廿一日 元山發
▲雄基行（關門發、釜山、各港經由×印ハ原道寄港セズ）×山陽丸 十二月廿九日 釜山發 一月一日 元山發 忠清丸 十二月卅一日 釜山發 一月一日 元山發
▲元山雄基線（元山起點各港經由雄基間往復）鎭城丸 一月四日 元山發
▲大阪行（浦潮發、元山、清津、城津、元山、釜山經由）越後丸 十二月三十日 元山發 一月一日 釜山發
▲關門行（雄基發、清津、城津、元山、各港經由×印ハ江原道不寄）×京畿丸 一月三日 元山發 一月六日 釜山發 雄基丸 十二月廿九日 元山發 一月一日 釜山發
▲金剛山遊覽便（元山發長箭石亭經由長箭行月六回但自六月至十月間）
▲鬱陵島行 釜山發浦項及各地經由 盈德丸 十二月三十日 釜山發
▲釜山浦項（釜山發浦項甘浦九龍浦經由釜山浦項相互ヨリ毎日一回出帆）
▲濟州島行（釜山發長承浦、防水、巨文島經由）昌平丸 一月二日 釜山發
▲濟州島行（木浦發東廻ハ所安島經由西廻ハ島島楸子島經由）東廻 公州丸 一月三日 木浦發 西廻 慶興丸 一月六日 木浦發
▲釜山麗水線 釜山、麗水間往復 釜山、麗水相互ヨリ毎日一回出帆
▲木浦麗水線 木浦釜山行麗水ニテ接續 巨濟丸 一月一日 木浦發
▲多島海行 木浦發多島海各島行 慶興丸 一月一日 木浦發
▲木浦行 仁川發各地經由 全州丸 一月一日 仁川發
▲海州行 仁川發江華島經由 仁川、海州相互ヨリ毎日一回出帆
▲鎭南浦行 仁川發各港經由 晉州丸 一月二日 仁川發
▲大連、青島行 仁川發芝罘經由 江原丸 一月七日 仁川發
鮮滿鐵道及社外船ト荷客連絡ノ便アリ
本社 京城南大門通 (電話長一九五二、二二三)
釜山支店 釜山佐藤町 元山支店 元山海岸通 仁川出張所 仁川山手通 木浦代理店 木浦代理店 京城荷客取扱店 京城大邱 京城取扱店 松原運送店
其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ 電話長一二〇七

# ◎日本郵船仁川出帆

大連、秦皇島行 酒田丸 一月三日 朝出帆
都合ニヨリ早發スルコトアルベシ
高砂丸 十二月廿三日正午出帆
相模丸 十二月廿六日正午出帆
仁川海岸町 (電話十番) 堀回漕部

◎近海運賃暴落

十一月末に至り近海運賃は益低下し既に[illegible]即ち一噸[illegible]滿洲七圓三十錢にて何れも契約成立では此七圓臺を持續するならんか[illegible]

◎海産肥料強含（東京）

鮭は手控へこなり在荷の不足を告ぐるより價格の騰貴は免れざるべく[illegible]最近深川筋に於て仕入れ[illegible]本年不漁の爲め不足し勢ひ産地の手持筋は荷控の姿こなり例年三四月の候出廻りこなる鰊漁は閑始らる[illegible]相場は當然下落[illegible]